

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事
若穂高架橋（上り線）

設 計 図

令和 8 年 9 月

東日本高速道路株式会社
関東支社長野工事事務所

【 図 面 目 録 】

図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
1	若穂高架橋（上り線）数量総括表		
2	若穂高架橋（上り線）橋梁一般図（その１）		
3	若穂高架橋（上り線）橋梁一般図（その２）		
4	若穂高架橋（上り線）耐震補強一般図		
5	若穂高架橋（上り線）P 1 橋脚 構造物掘削図 普通部 A		
6	若穂高架橋（上り線）P 2 橋脚 構造物掘削図 普通部 A		
7	若穂高架橋（上り線）P 1 橋脚 R C 巻立て一般図		
8	若穂高架橋（上り線）P 1 橋脚 R C 巻立て配筋図（その１）		
9	若穂高架橋（上り線）P 1 橋脚 R C 巻立て配筋図（その２）		
10	若穂高架橋（上り線）P 2 橋脚 炭素繊維巻立て工 詳細図		
11	若穂高架橋（上り線）A 1 橋台 縁端拡幅工 B 詳細図（その１）		
12	若穂高架橋（上り線）A 1 橋台 縁端拡幅工 B 詳細図（その２）		
13 ～ 16	若穂高架橋（上り線）A 2 橋台 落橋防止構造 P 1－L 1 構造詳細図（その１～４）（参考図）		
17	若穂高架橋（上り線）A 1 橋台 はく落防止対策工 B 1 一般図		
18	若穂高架橋（上り線）P 1 橋脚 はく落防止対策工 B 1 一般図		
19	若穂高架橋（上り線）交通保安要員 交通誘導警備員 配置図（その１）		
20	若穂高架橋（上り線）交通保安要員 交通誘導警備員 配置図（その２）		
21	若穂高架橋（上り線）A 1 橋台 断面修復工 A 1 詳細図		
22	若穂高架橋（上り線）A 1 橋台 コンクリート表面被覆工詳細図		
23	若穂高架橋（上り線）通行止め計画図（参考図）		
24 ～ 26	若穂高架橋（上り線）施工要領図（その１～３）（参考図）		
27	若穂高架橋（上り線）配線系統図（参考図）		

項目番号		2-（6）	8-（1）	8-（2）	8-（3）	1 7-（9）	1 7-（9）	1 7-（9）	1 7-（9）	1 7-（11）	1 7-（11）	1 7-（11）	1 7-（11）
項目名称		構造物掘削	コンクリート	型わく	鉄筋	縁端拡幅工B	縁端拡幅工B	縁端拡幅工B	縁端拡幅工B	落橋防止構造	落橋防止構造	落橋防止構造	落橋防止構造
		普通部A	A 1－5	TH	T	コンクリート A 1－5	型わく	鉄筋	アンカー工 φ 3 9 ・ 4 4 5	P 1－L 1	鋼製ブラケット	アンカー工 φ 4 5 ・ 5 3 5（水平）	アンカー工 φ 3 9 ・ 4 4 5（上向き）
単位		m 3	m 3	m 2	t	m 3	m 2	t	本	本	t	本	本
若穂 高架橋	A 1					4.3	15.8	0.853	84.0				
	P 1	79.8	24.5	110.0	3.139								
	P 2	100.6											
	A 2									2.0	0.494	12.0	32.0
合計		180.4	24.5	110.0	3.139	4.3	15.8	0.853	84.0	2.0	0.494	12.0	32.0

項目番号		1 7-（1 8）	1 7-（2 5）	1 7-（2 6）	1 7-（2 7）	1 7-（2 9）	1 7-（3 0）	1 7-（3 1）	1 7-（3 2）	1 9-（2）	特-（1 3）
項目名称		耐震補強用コンクリート表面処理工	炭素繊維巻立て下地処理工	炭素繊維巻立て工	炭素繊維巻立て表面仕上工	断面修復工	コンクリート表面処理工	はく落防止対策工	表面保護工	交通保安要員	コンクリートはつり工
		A		A 1	A	A 1		B 1	コンクリート表面被覆工	交通誘導警備員B 2	A
単位		m 2	m 2	m 2	m 2	L	m 2	m 2	m 2	人・日	m 3
若穂 高架橋	A 1	10.7				359.0	2.2	2.2	5.4	44.0	0.359
	P 1	90.2					0.4	0.4		8.0	
	P 2		81.4	81.4	81.4					10.0	
	A 2										
合計		100.9	81.4	81.4	81.4	359.0	2.6	2.6	5.4	62.0	0.359

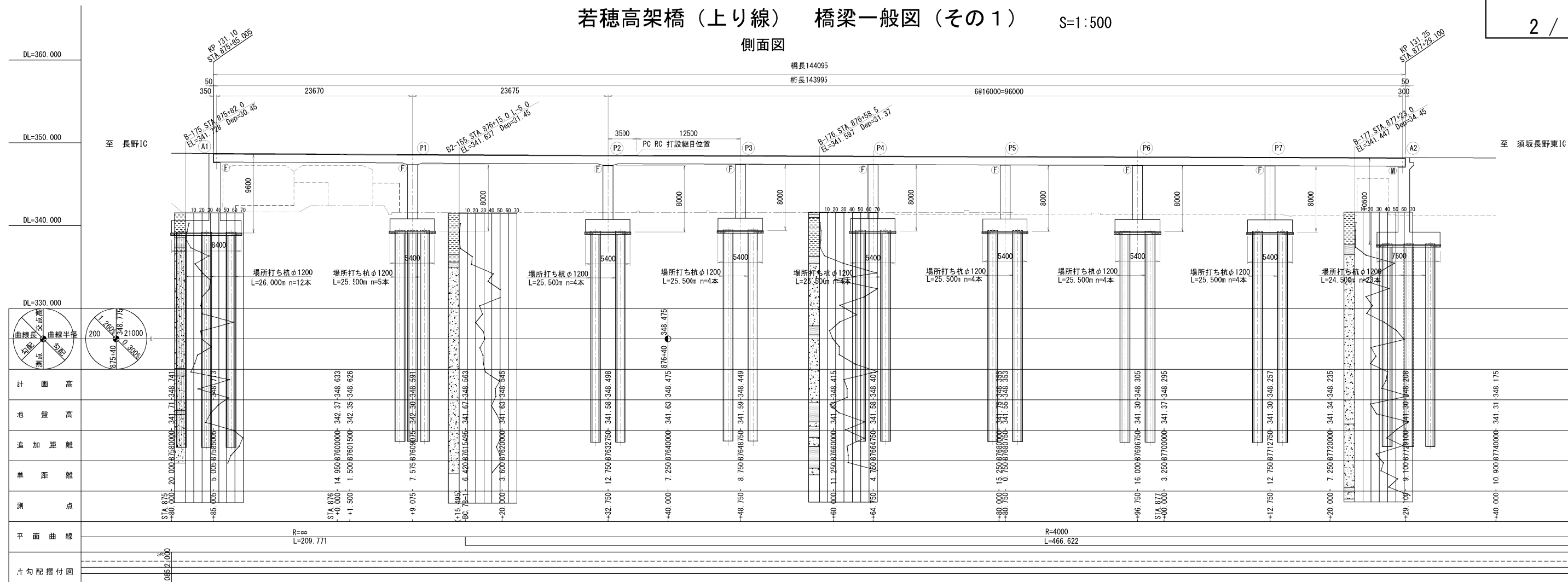
上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	若穂高架橋（上り線） 数量総括表		
縮 尺	—	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

若穂高架橋（上り線） 橋梁一般図（その1）

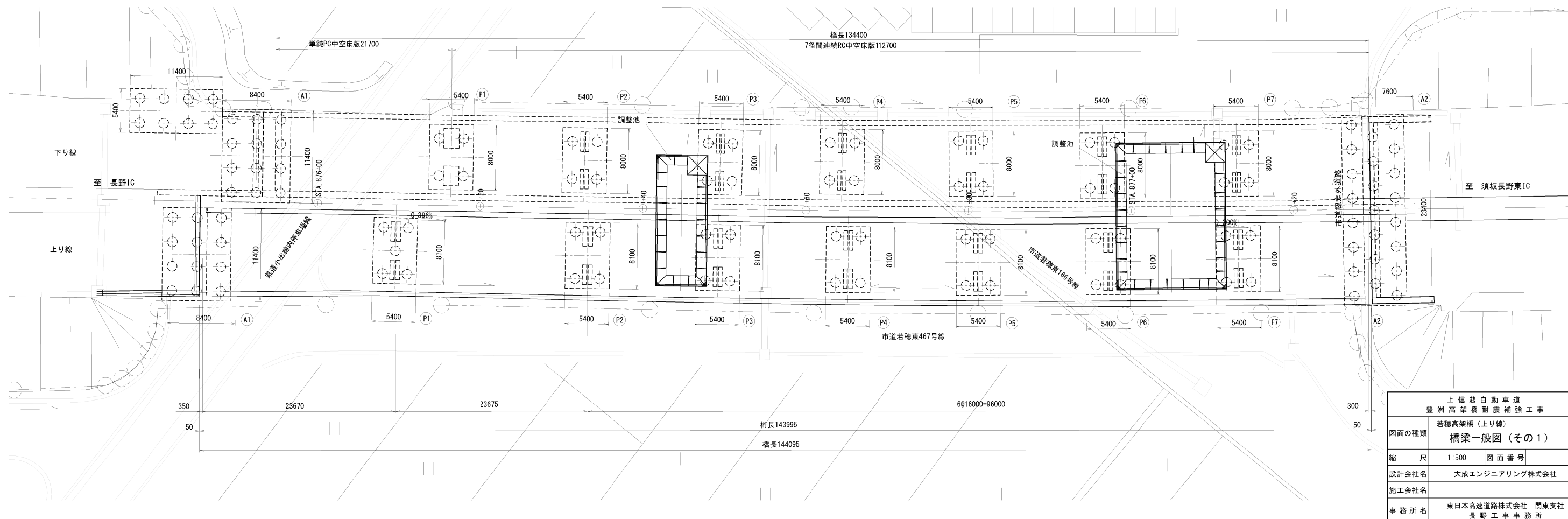
S=1:500

2 / 27

側面図

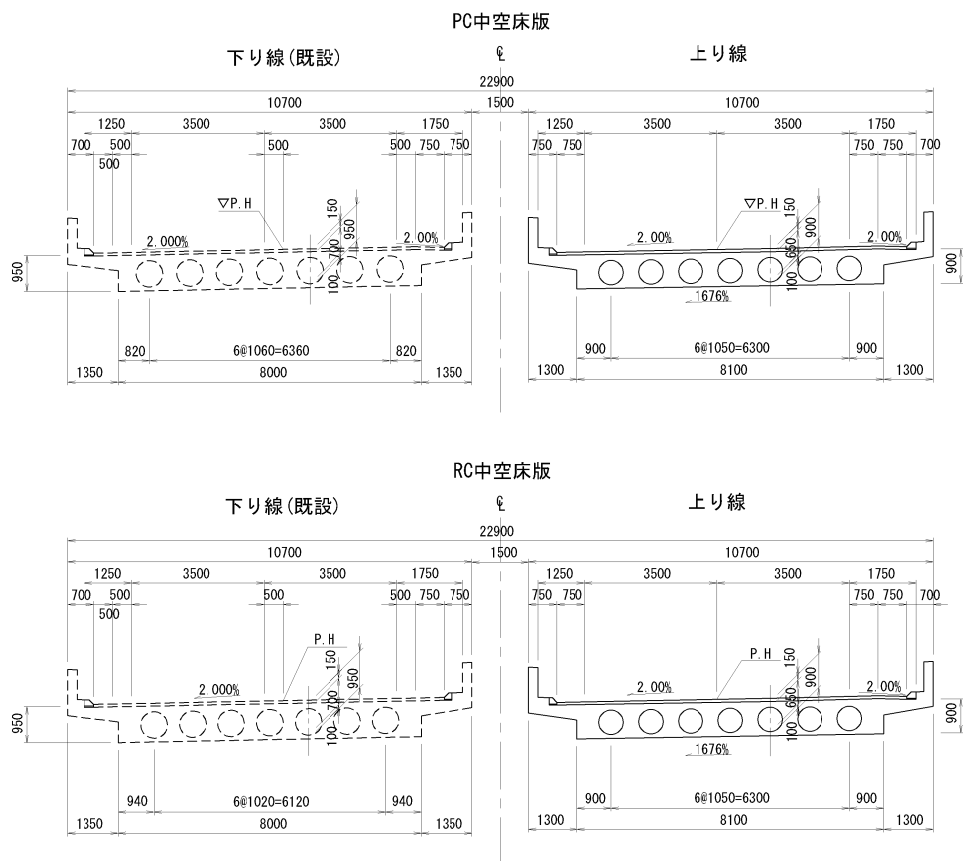


平面図

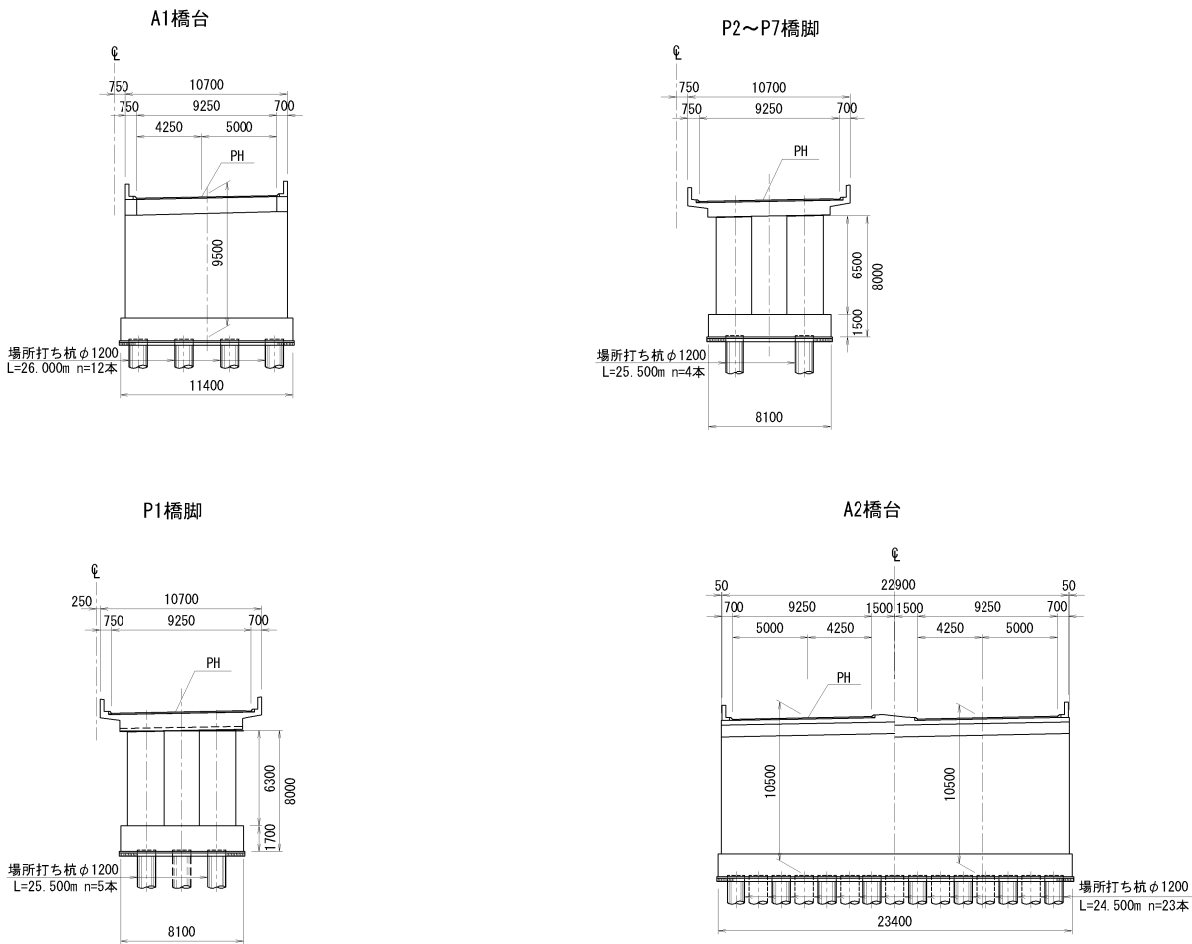


上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
若穂高架橋（上り線）			
図面の種類	橋梁一般図（その1）		
縮尺	1:500	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

標準断面図 S=1:200

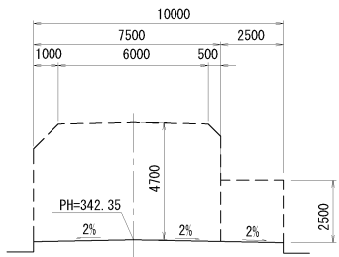


断面図 S=1:500

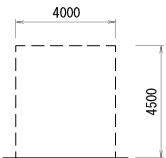


交差条件 S=1:300

県道小出・綿内停車場線



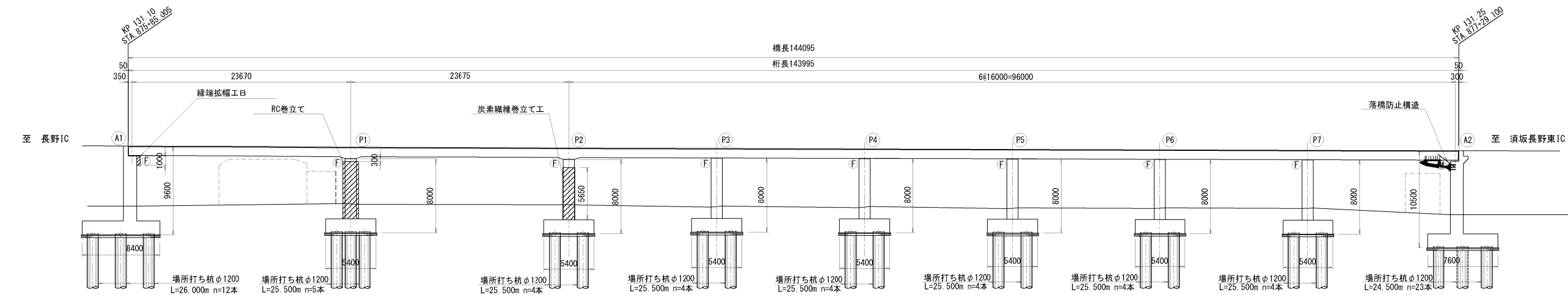
P7-A2間



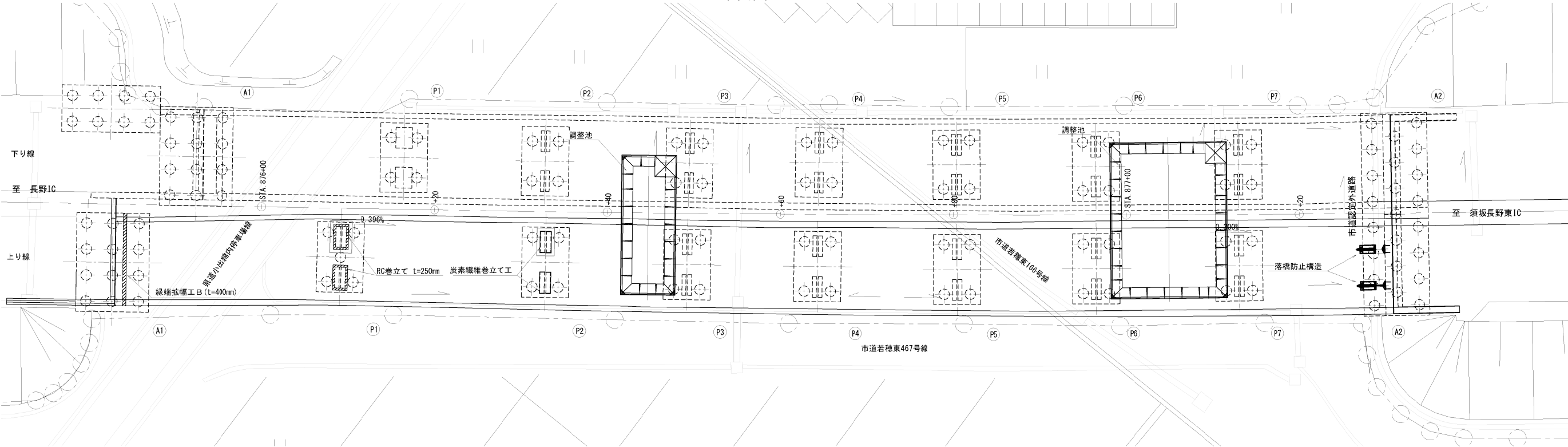
設計条件			
橋	長	144.095m	
道路規格		第1種第2級B規格	
荷	重	TL-20, TT-43	
型	式	PC 2 径間+RC 6 径間連続RC中空床版橋	
支	間	123.670m, 23.675m, 6@16.000m	
有効幅員		9.250m	斜角 LR 90°
横断勾配		2.000%	
縦断係数		0.300%	
地震係数		水平震度KH=0.30 鉛直震度KV=0.00	
適用示方書		道路橋示方書・同解説（平成2年2月）	

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	若穂高架橋（上り線） 橋梁一般図（その2）		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務所		

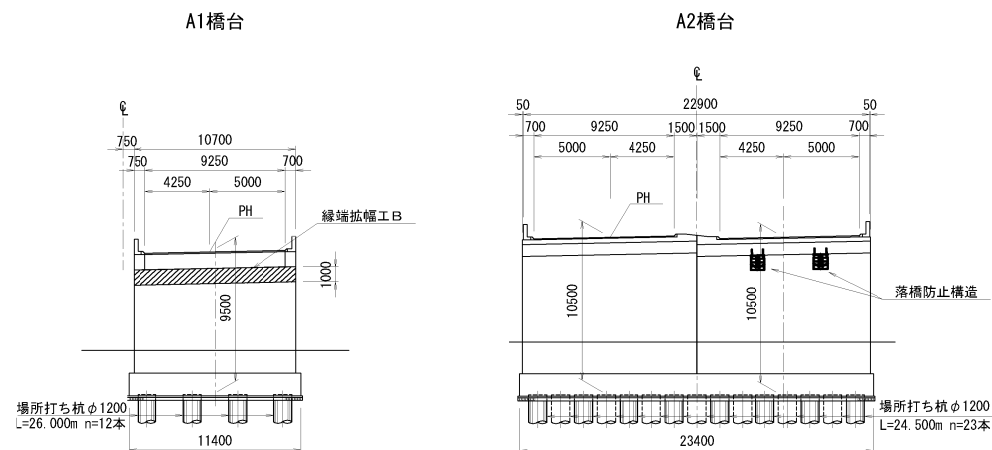
側面図



平面図



断面図



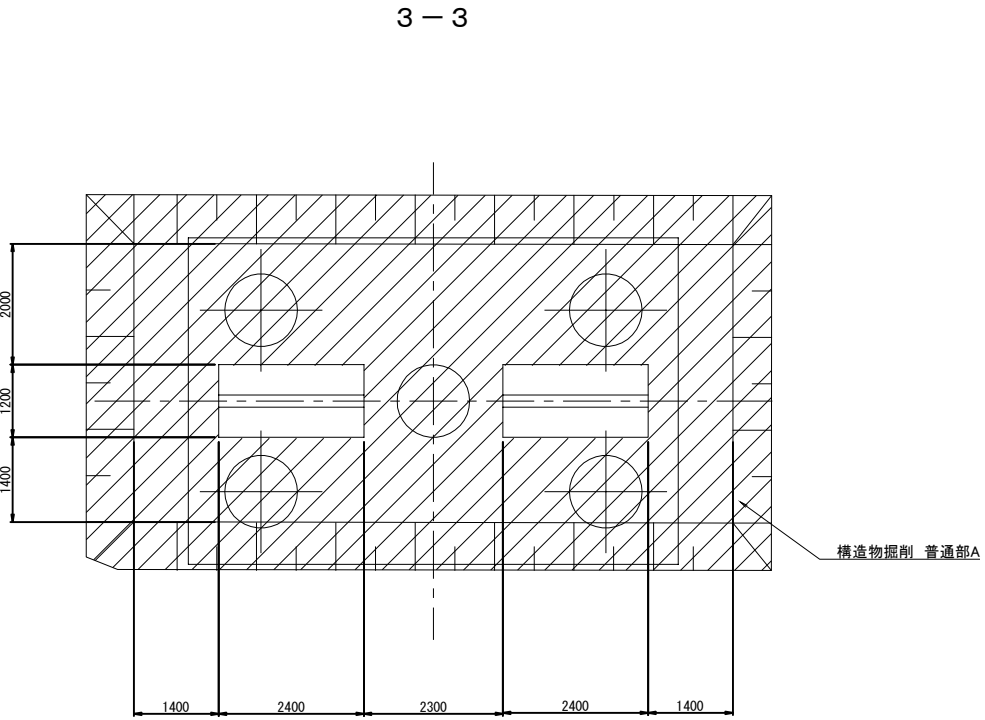
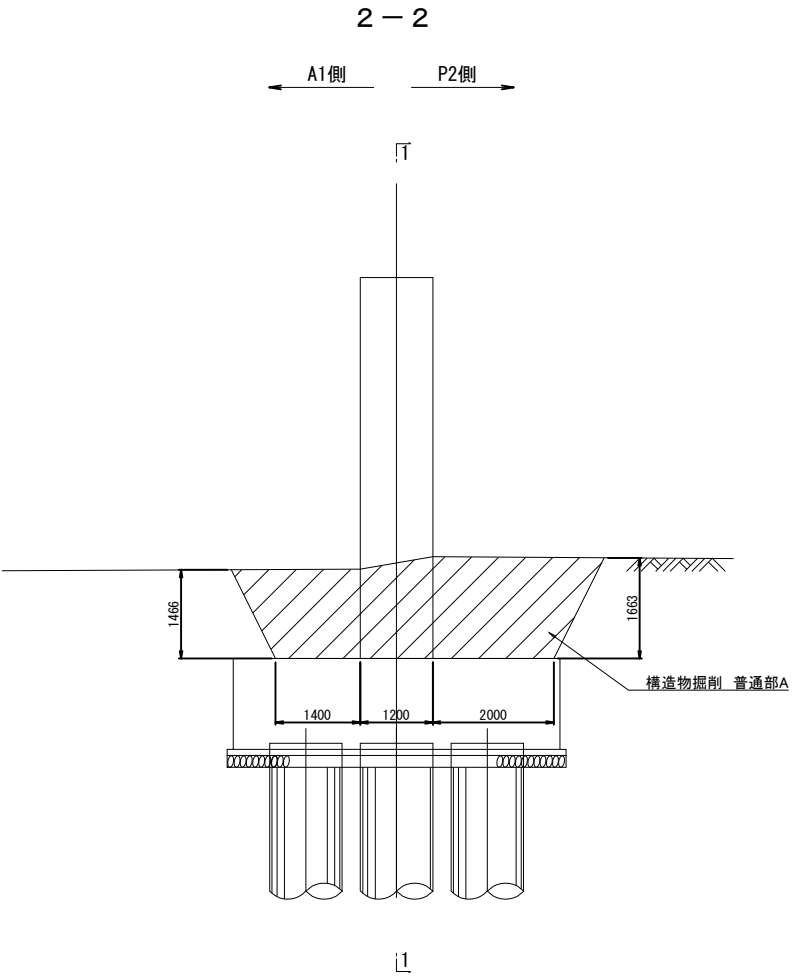
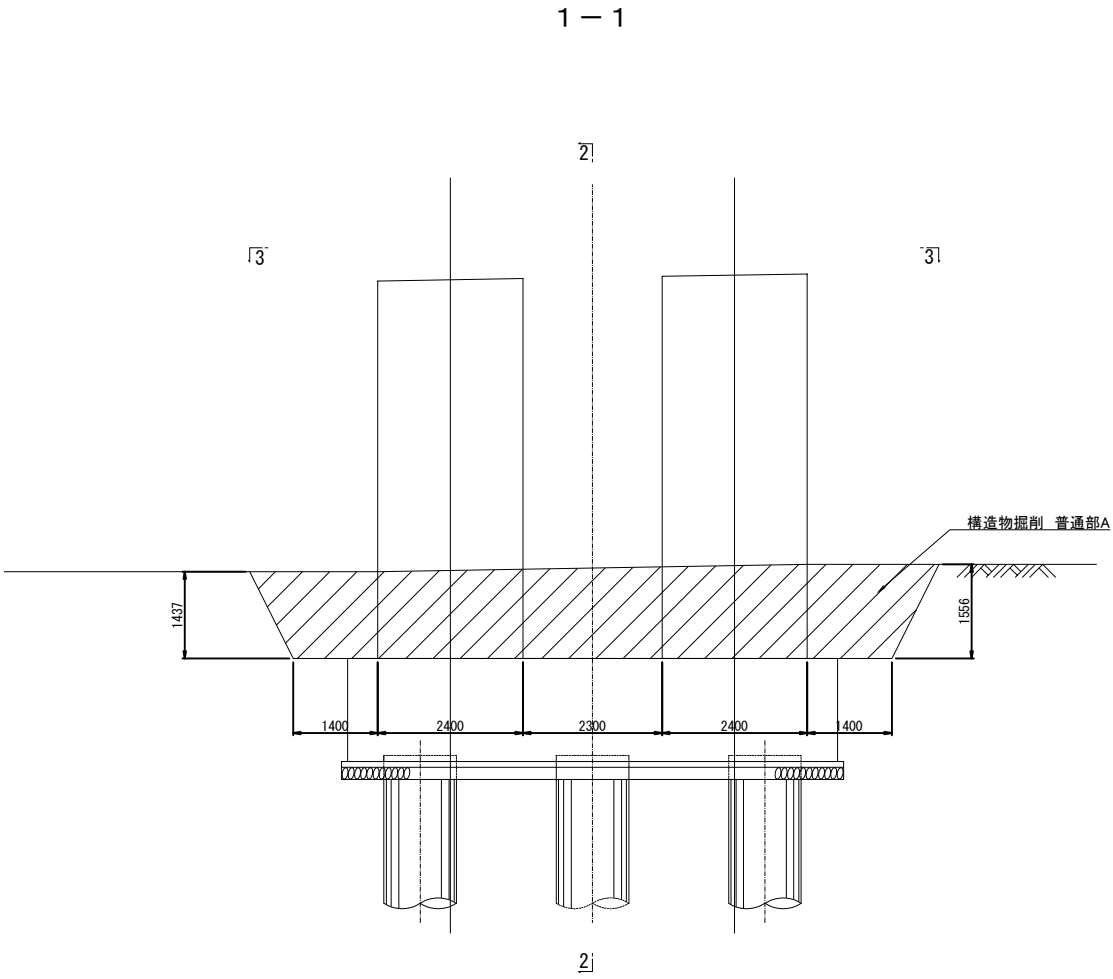
建設時設計条件

橋	長	144.095m
支間	長	123.670m+23.675m+6×16.000m
全幅員		10.700m
有効幅員		9.250m
上部工型式		PC2径間+RC6径間連続RC中空床版橋
下部工型式		逆T式橋台、二柱式橋脚
活荷重		TL-20, TT-43
完成年月		1996年(平成8年)3月
設計基準		H2道路橋示方書・同解説
設計水平震度		K _h =0.30
使用材料	コンクリート	σ _{ck} =240kgf/cm ²
	鉄筋	SD345
	鋼材	SBPR 785/930, SMPR7A

今回耐震補強設計条件

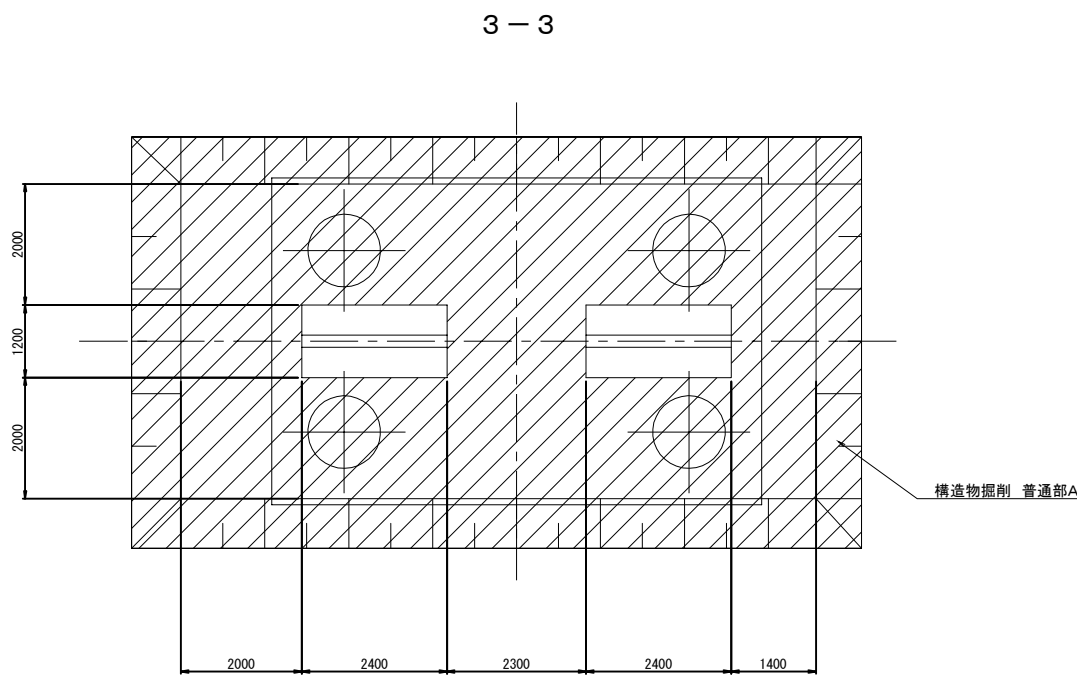
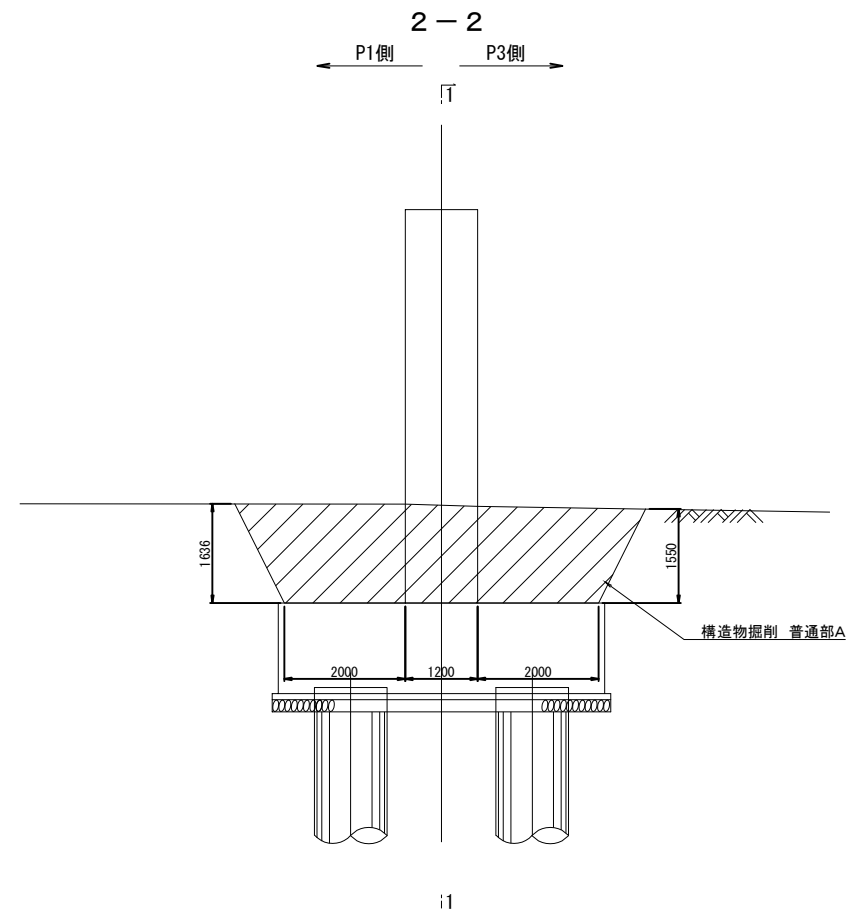
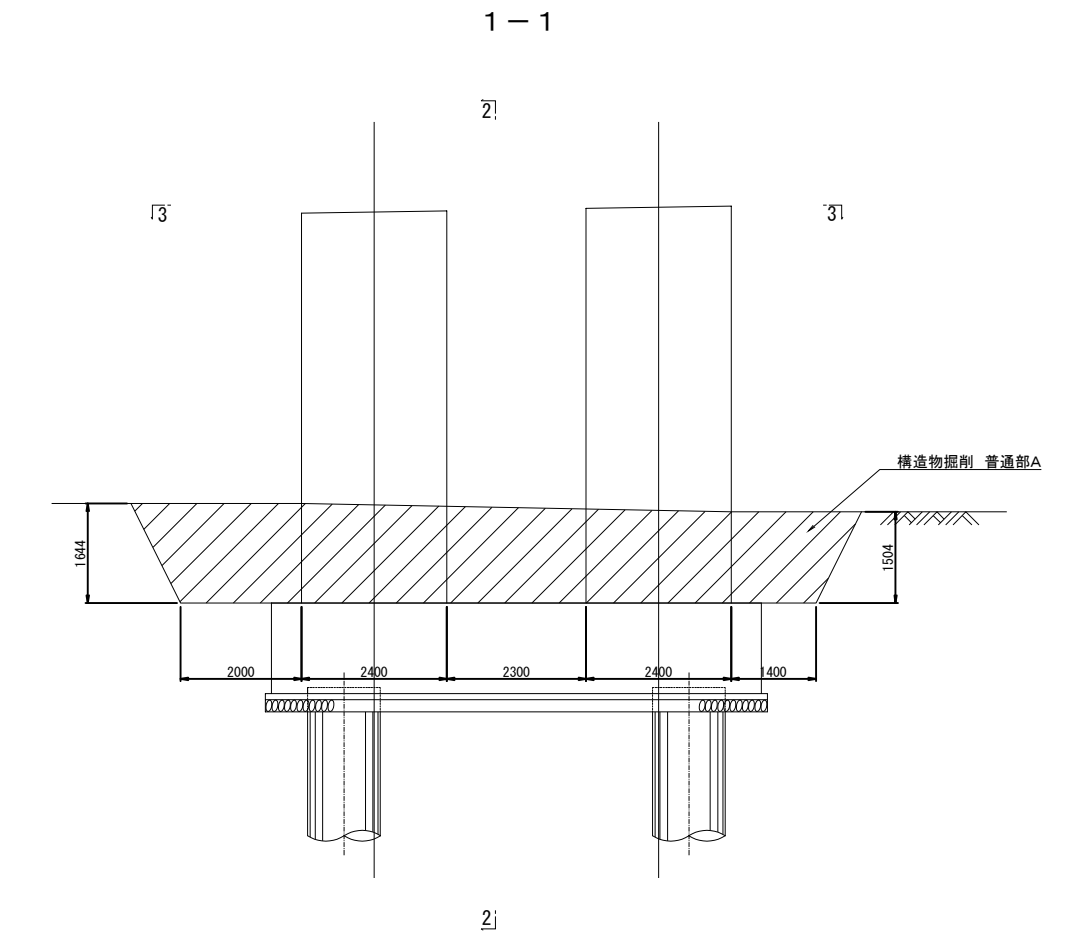
設計基準	R7設計要領 第二集 橋梁保全編 H24道路橋示方書・同解説 IV下部構造編 H24道路橋示方書・同解説 V耐震設計編
活荷重	B活荷重
使用材料	コンクリート 鉄筋
補強内容	橋脚 橋台 上部工
	RC巻立て、炭素繊維巻立て工 緑端拡幅工B 落橋防止構造：PCケーブル

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事	
図面の種類	若穂高架橋（上り線） 耐震補強一般図
縮尺	1:500 図面番号
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所



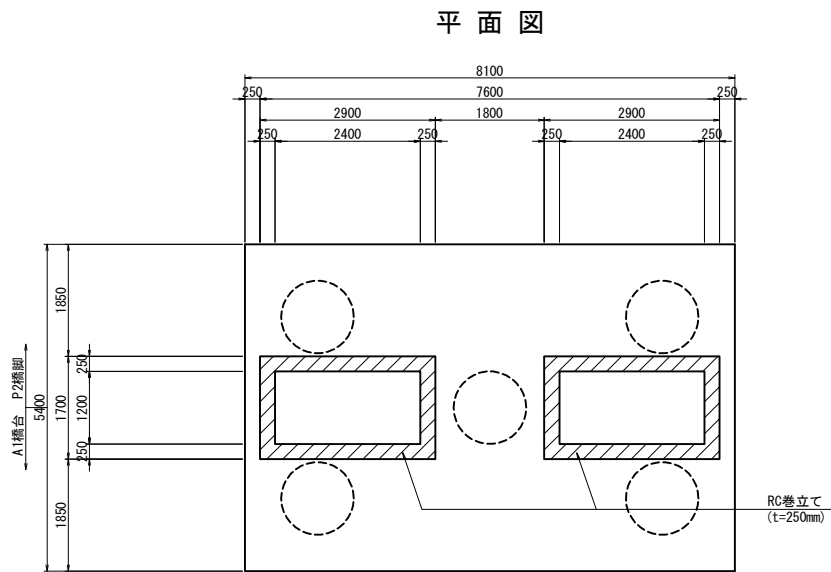
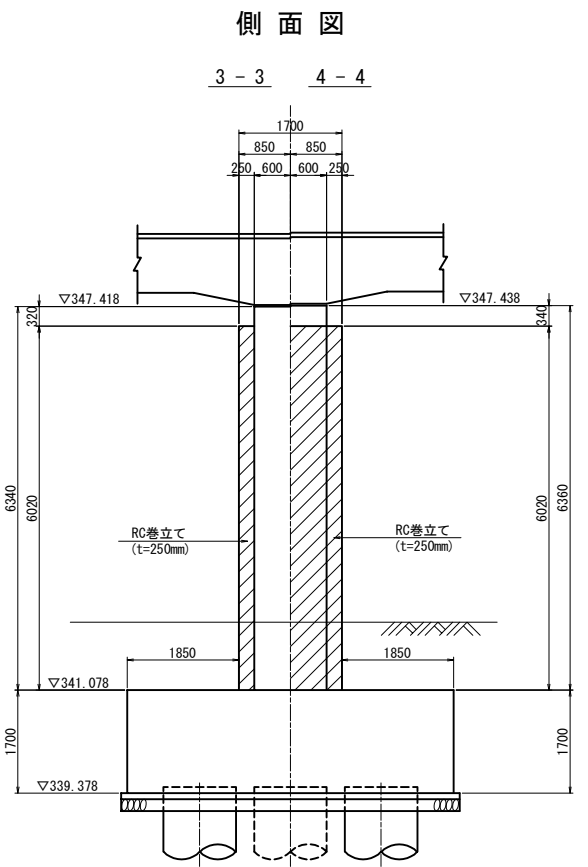
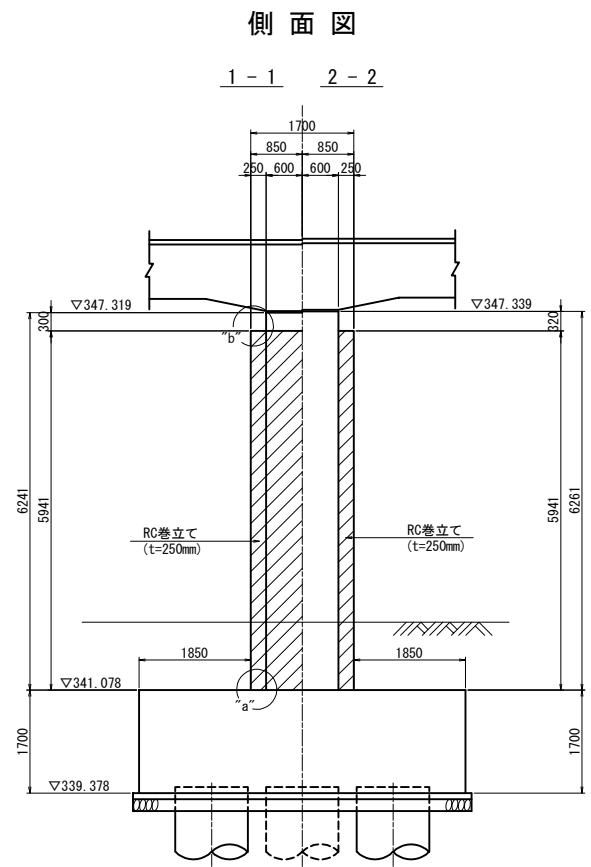
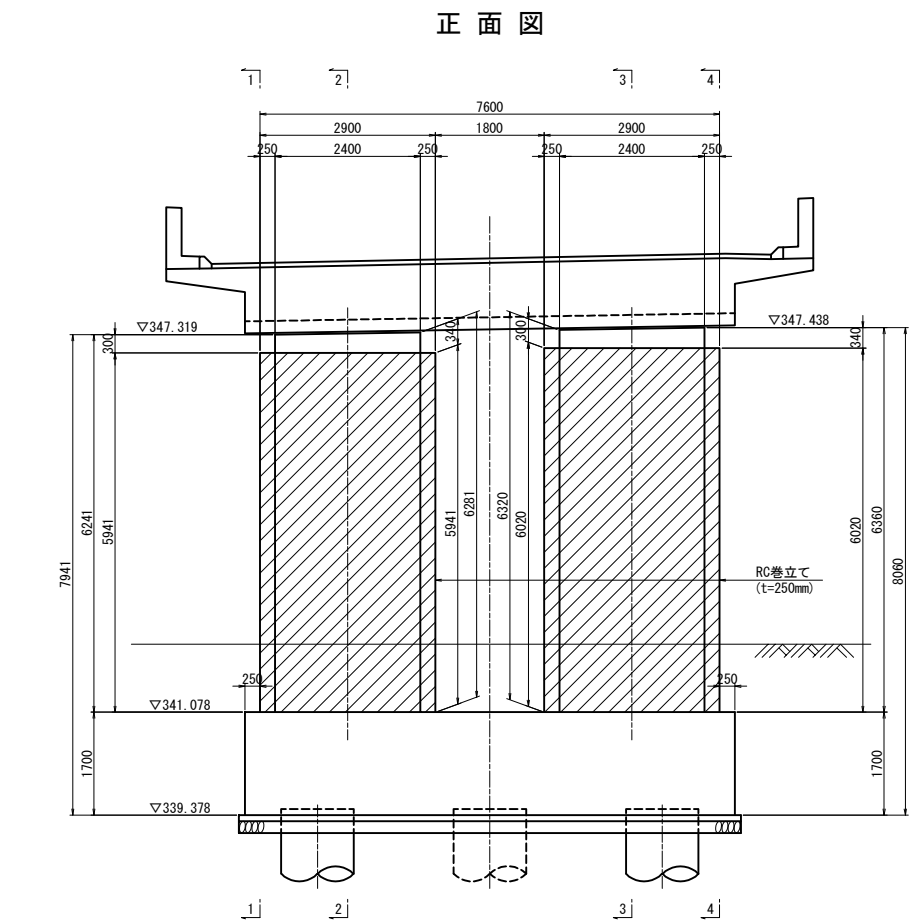
注記)
1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
2. 既設構造物の形状を現地計測の上、必要に応じて、
施工内容を精査すること。

上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	若穂高架橋（上り線） P 1 橋脚 構造物掘削図 普通部 A		
縮 尺	1:125	図 面 番 号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

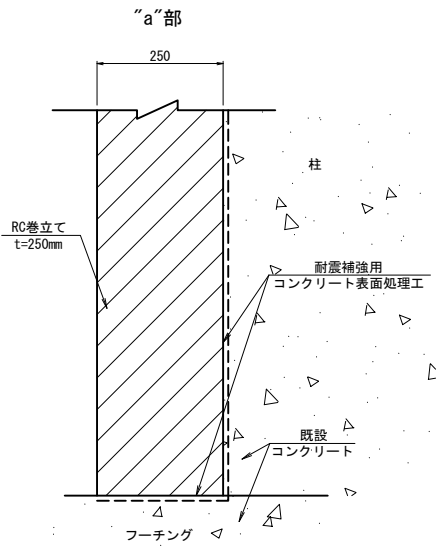


注記)
1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
2. 既設構造物の形状を現地計測の上、必要に応じて、
施工内容を精査すること。

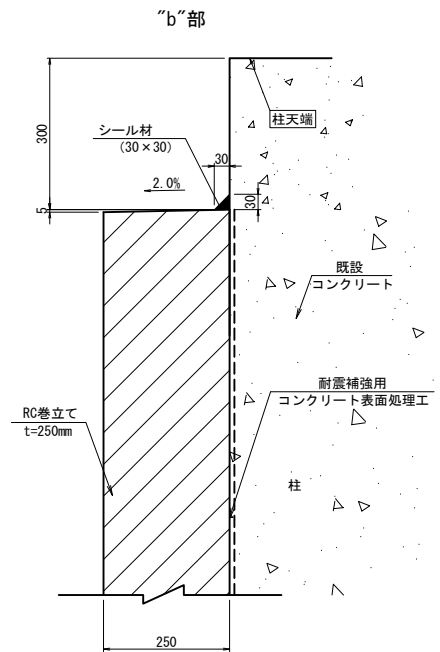
上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	若穂高架橋（上り線） P 2 橋脚 構造物掘削図 普通部 A		
縮 尺	1:125	図 面 番 号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		



RC巻立て下端部詳細図 S=1:15



RC巻立て天端詳細図 S=1:15

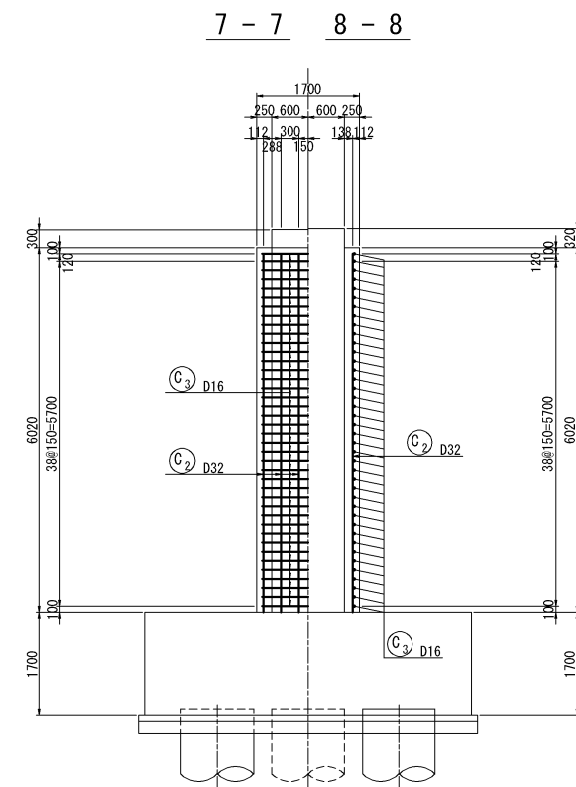
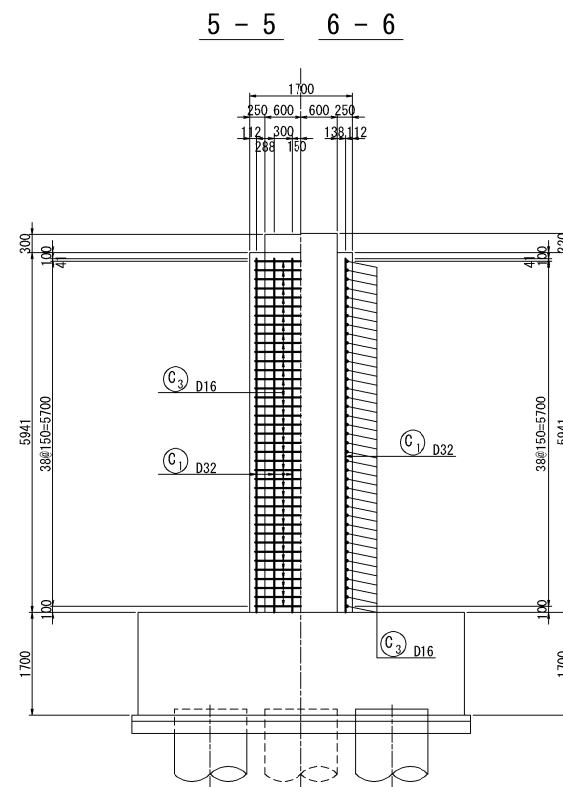
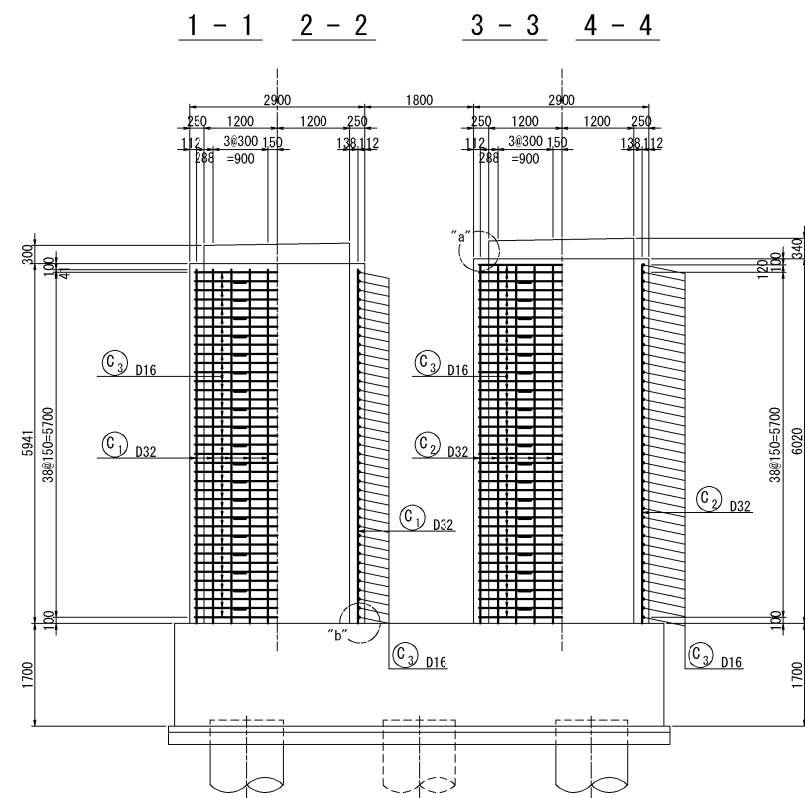


使用材料

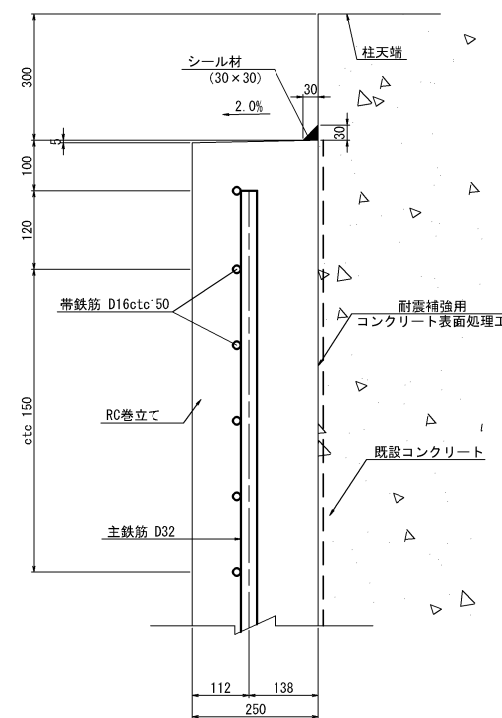
工 種	仕 様
既 設 部	コンクリート $\sigma_{ck}=240\text{kgf/cm}^2$
	鉄 筋 SD345
補 強 部	コンクリート $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$
	鉄 筋 SD345

- 注記) 1.  は、補強部分を示す。
2. 補強部分（既設面）は、WJによる表面処理を行う。
3. 補強部分の天端位置から2.0%の排水勾配を外側に向けて設ける。

上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	若穂高架橋（上り線） P 1 橋脚 R C 巻立て一般図		
縮 尺	図 示	図 面 番 号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 務 所		

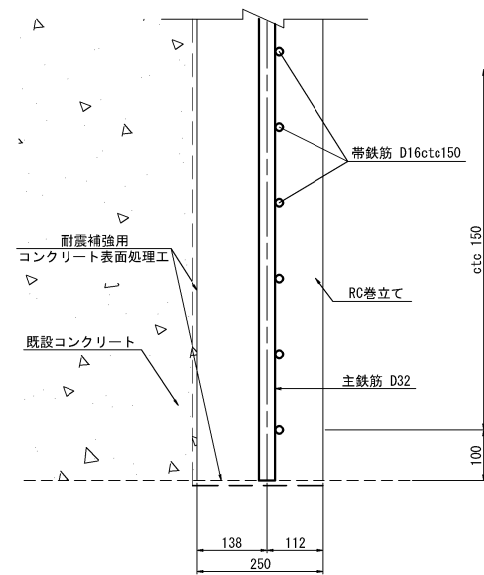


a部詳細図 S=1:15



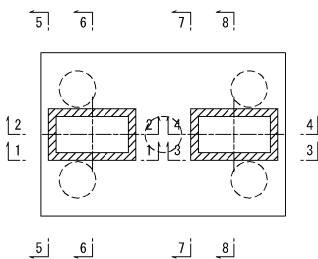
b部詳細図 S=1:15

(アンカー定着無し)

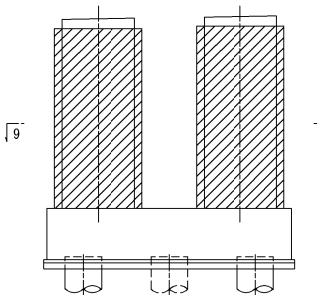


位置図

平面図

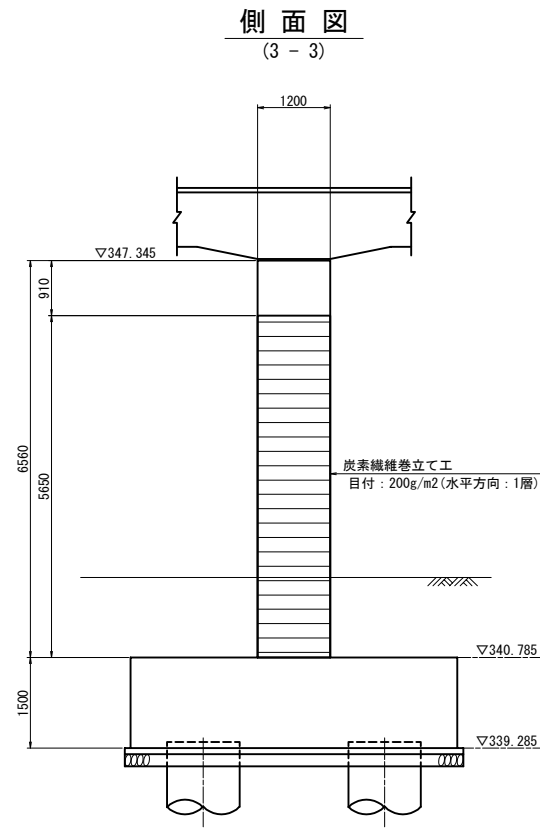
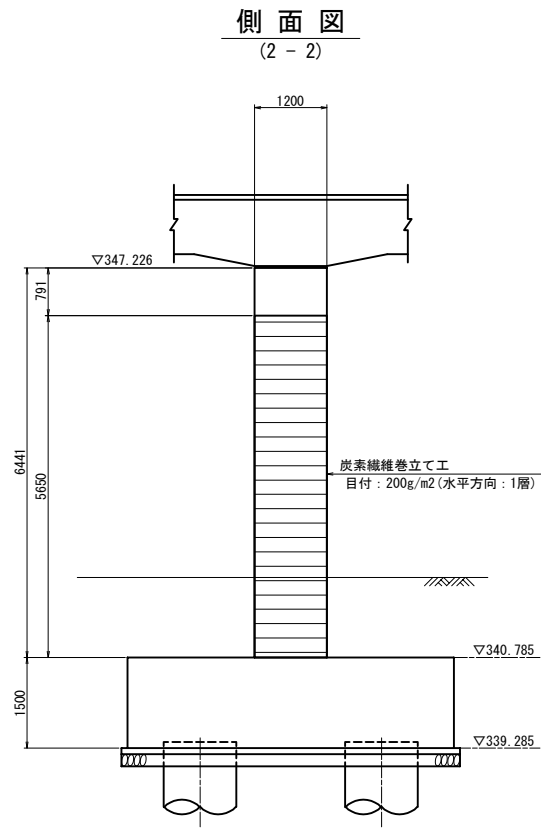
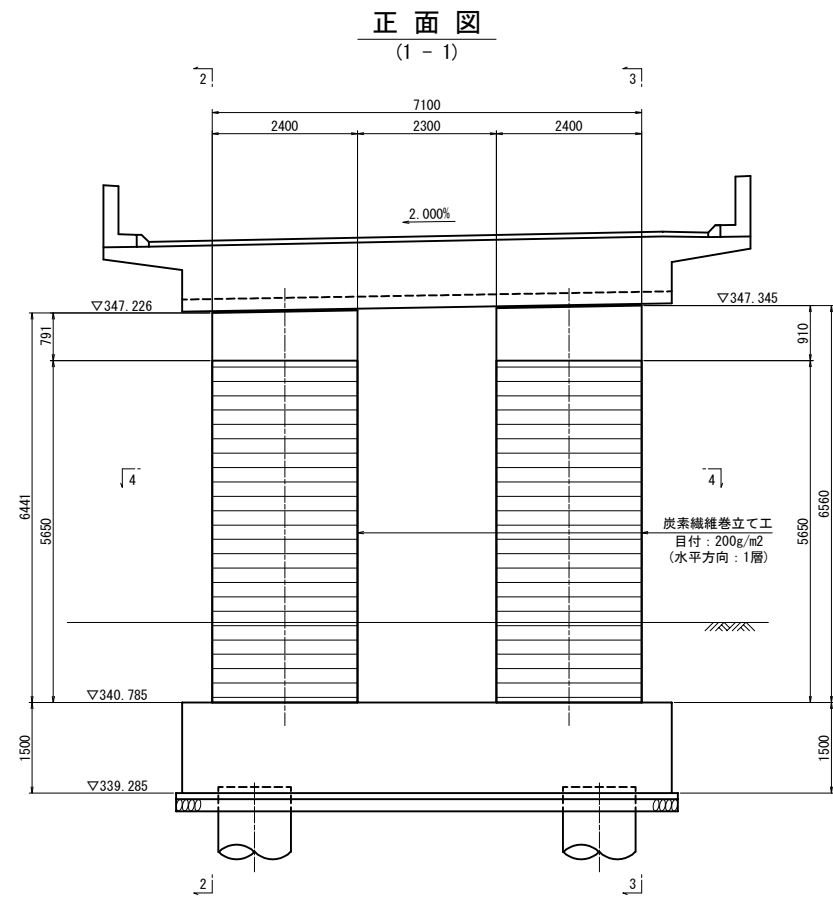


正面図

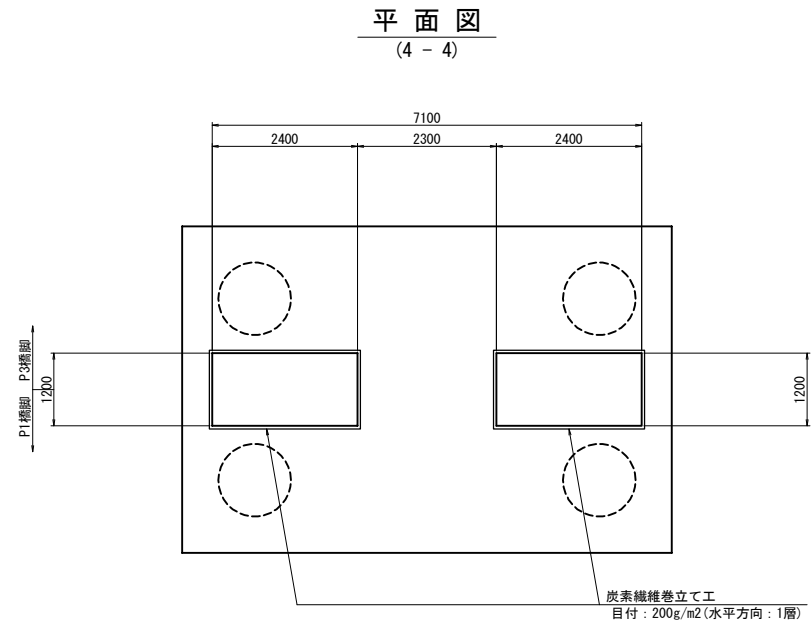


注記)
1. フレア溶接位置は千鳥配置とする。
2. 補強部分（既設面）は、WJによる表面処理を行う。

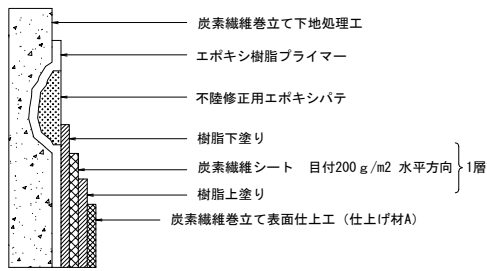
上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	若穂高架橋（上り線） P 1 橋脚 RC巻立て配筋図（その1）		
縮 尺	図 示	図 面 番 号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



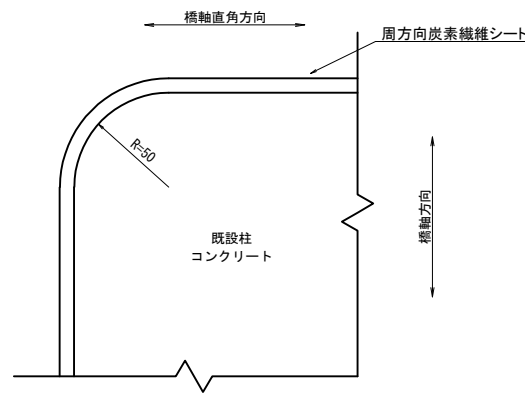
凡 例
：水平方向



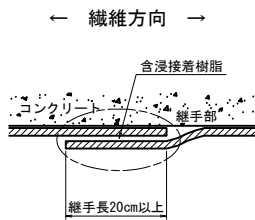
炭素繊維シート施工断面図
A 1



柱隅角部詳細図 S=1:5



継手の設置方法 S=1:15



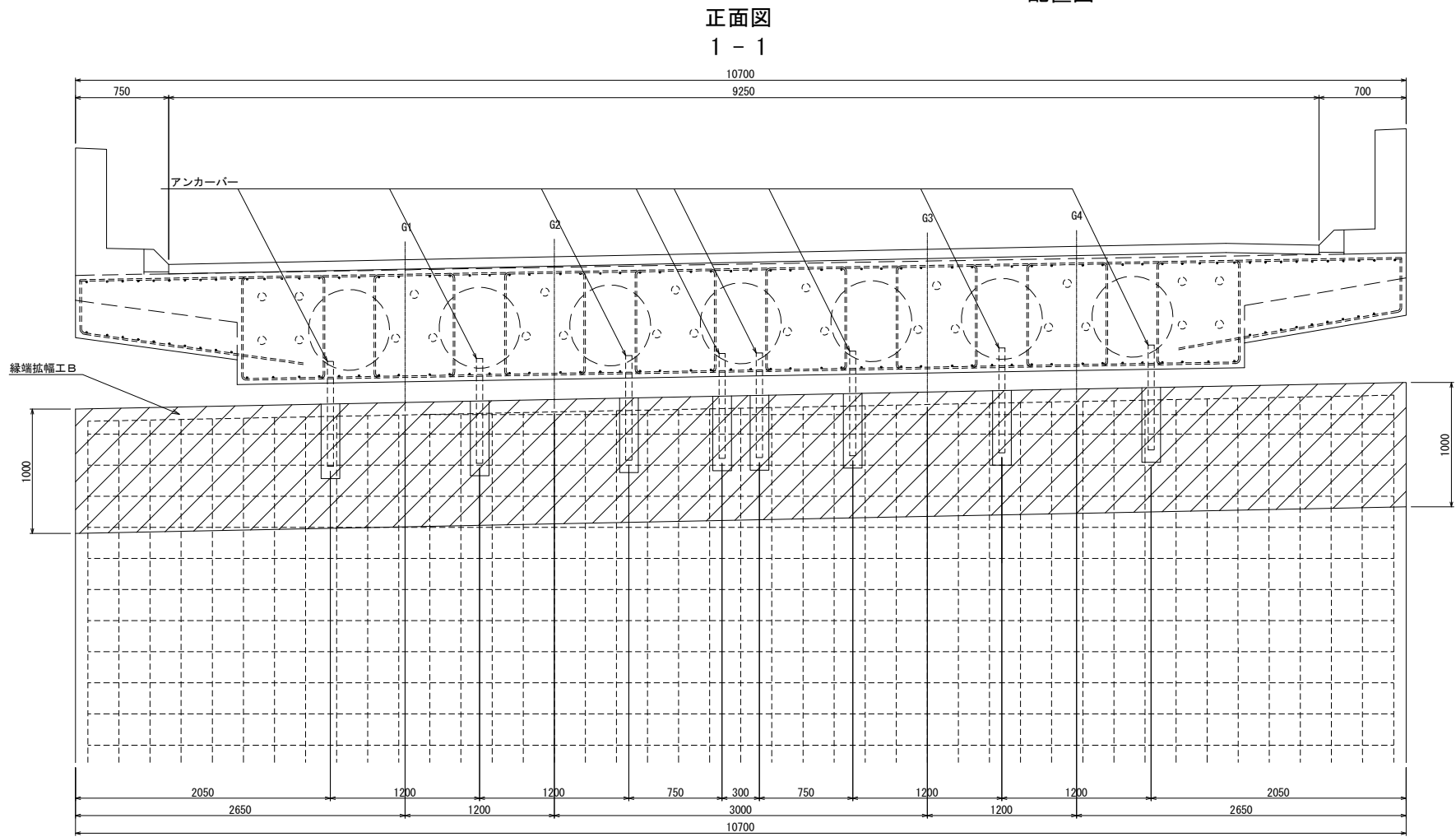
炭素繊維シート性能表

繊維目付 (g/mm ²)	引張強度 (N/mm ²)	引張弾性係率 (N/mm ²)	設計厚さ (mm)	備考
200	3400	(2.45±0.36) × 10 ⁵	0.111	高強度型

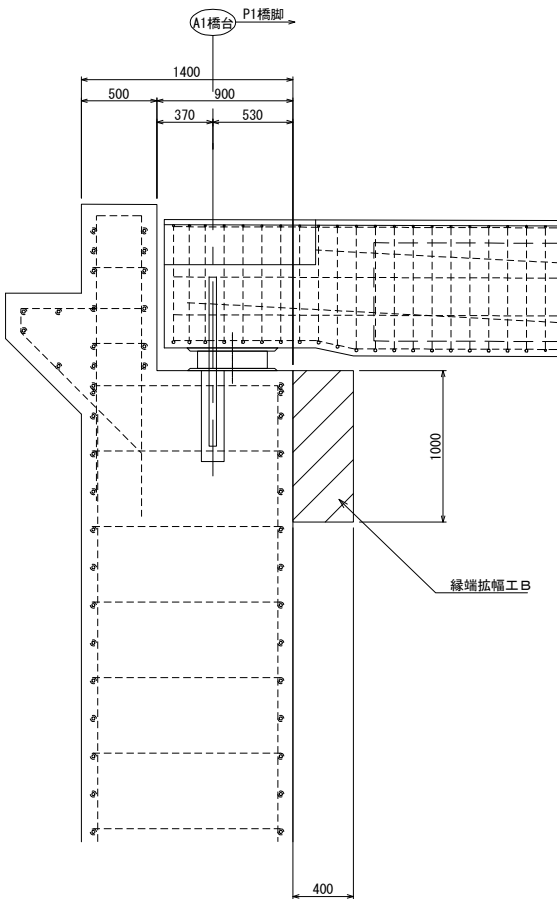
注記)
1. 施工にあたっては、現地計測を実施して既設構造寸法を再確認すること。

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	若穂高架橋（上り線） P 2 橋脚 炭素繊維巻立て工 詳細図		
縮 尺	図 示	図 面 番 号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

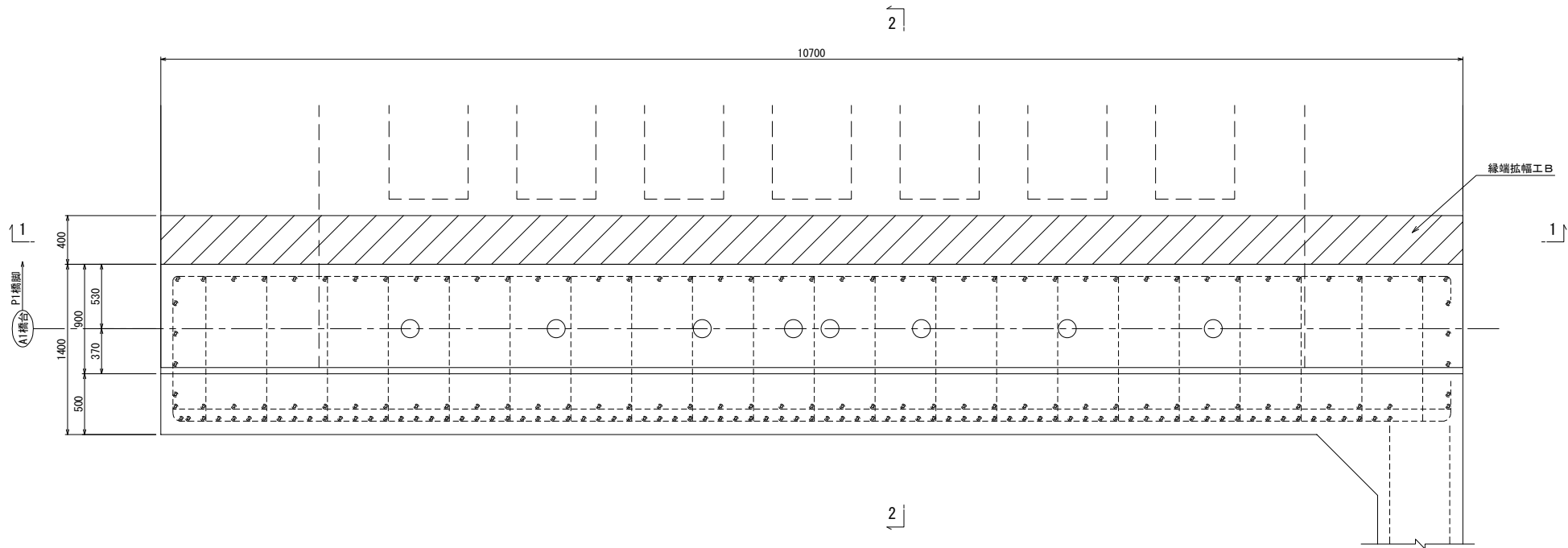
配置図



側面図
2 - 2



平面図

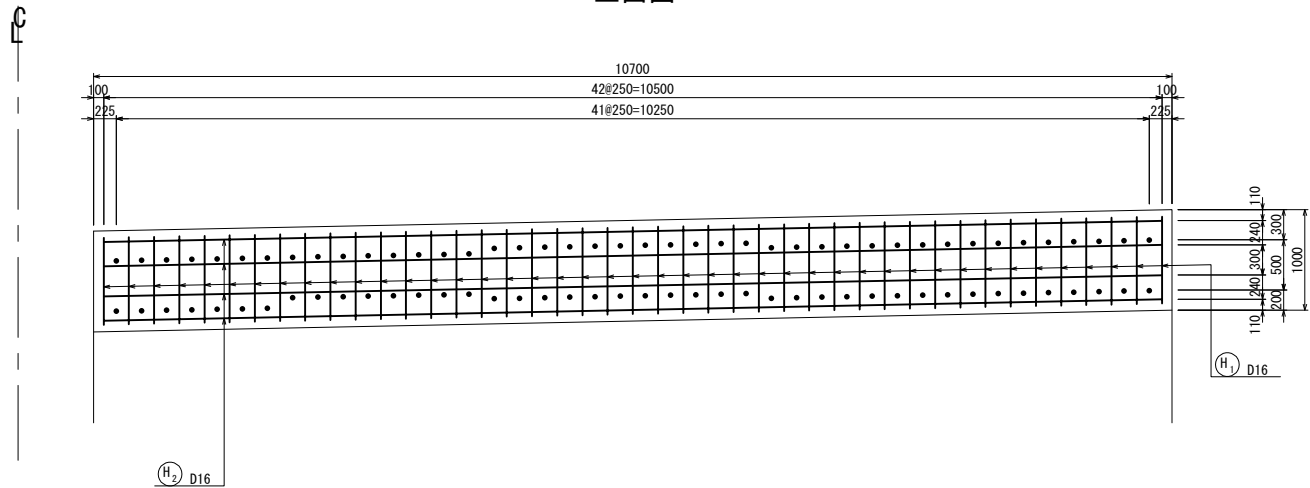


注記)

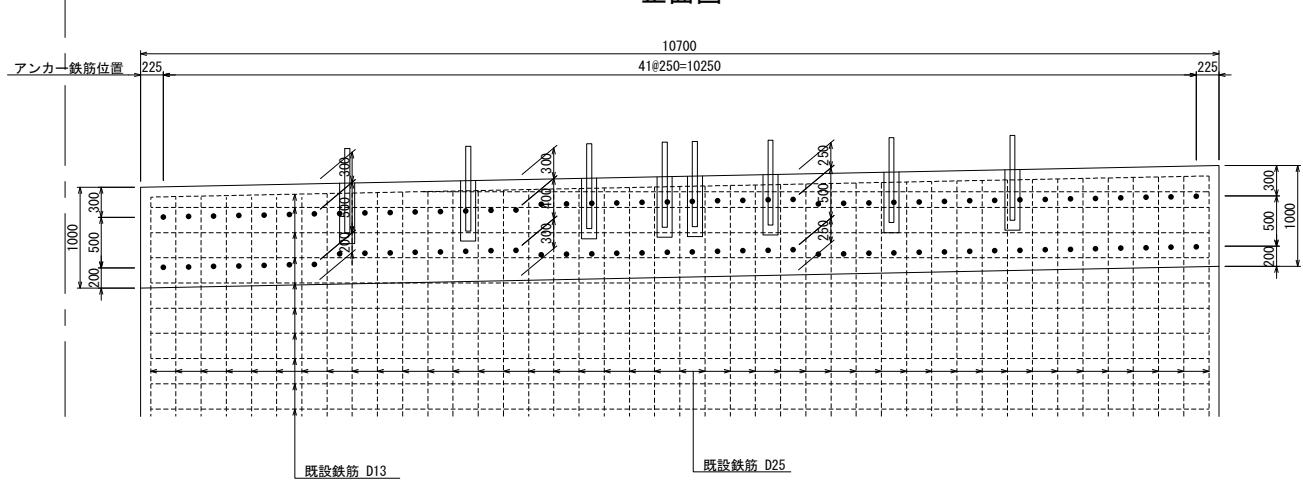
1. コンクリートの設計基準強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ とし、鉄筋はSD345を使用する。
2. 本図の既設構造物の基準寸法部材寸法などは、すべて完成図を基に作図を行なっている。
3. 施工に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
4. 既設コンクリート表面は、新旧コンクリートの付着性をよくするため、WJによる表面処理を行うこと。
5. アンカー削孔前に鉄筋探索を行い、既設鉄筋を避けて施工のこと。
6. 縁端拡幅工及びRC巻立てと、断面修復工が重複している範囲のWJ施工数量については、コンクリートはつり工で計上している。

上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	若穂高架橋（上り線） A 1 橋台 縁端拡幅工 B 詳細図（その 1）		
縮 尺	1:50	図 面 番 号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 務 所		

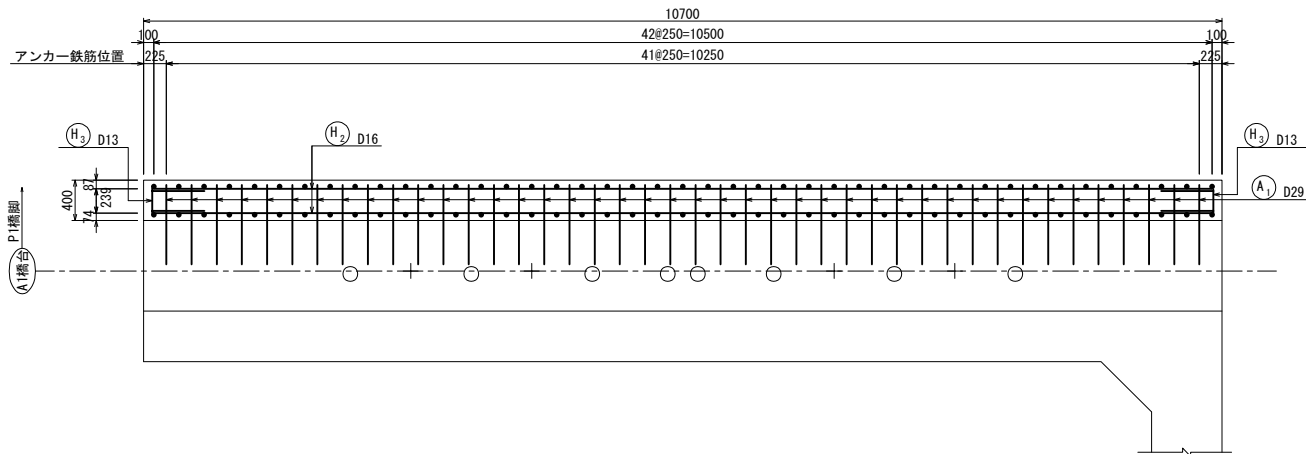
正面図



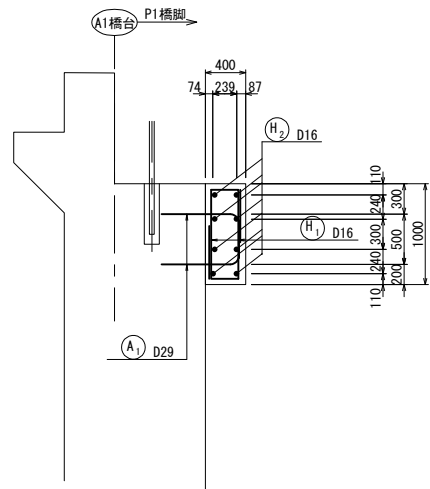
正面図



平面図

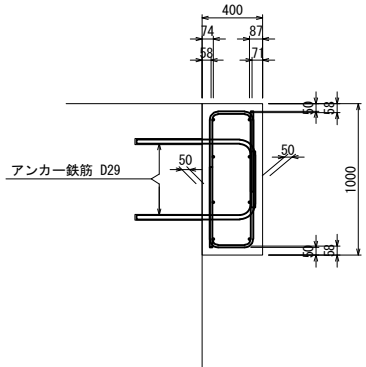


側面図



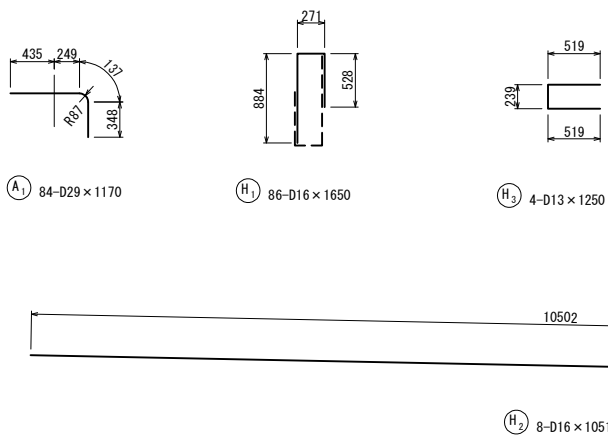
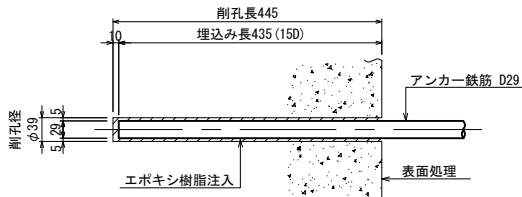
かぶり詳細図

S=1:50



アンカー鉄筋

S=1:12.5



鉄筋表

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
下部工施工鉄筋 (SD345)							
A1	D29	1170	84	5.04	5.90	496	┐
						496	kg
H1	D16	1650	86	1.56	2.57	221	┐
H2	D16	10510	8	1.56	16.4	131	┐
H3	D13	1250	4	0.995	1.24	5	┐
						357	kg
鉄筋質量集計 (SD345)							
						D29	496 kg
						D16	352 kg
						D13	5 kg
						合計	853 kg

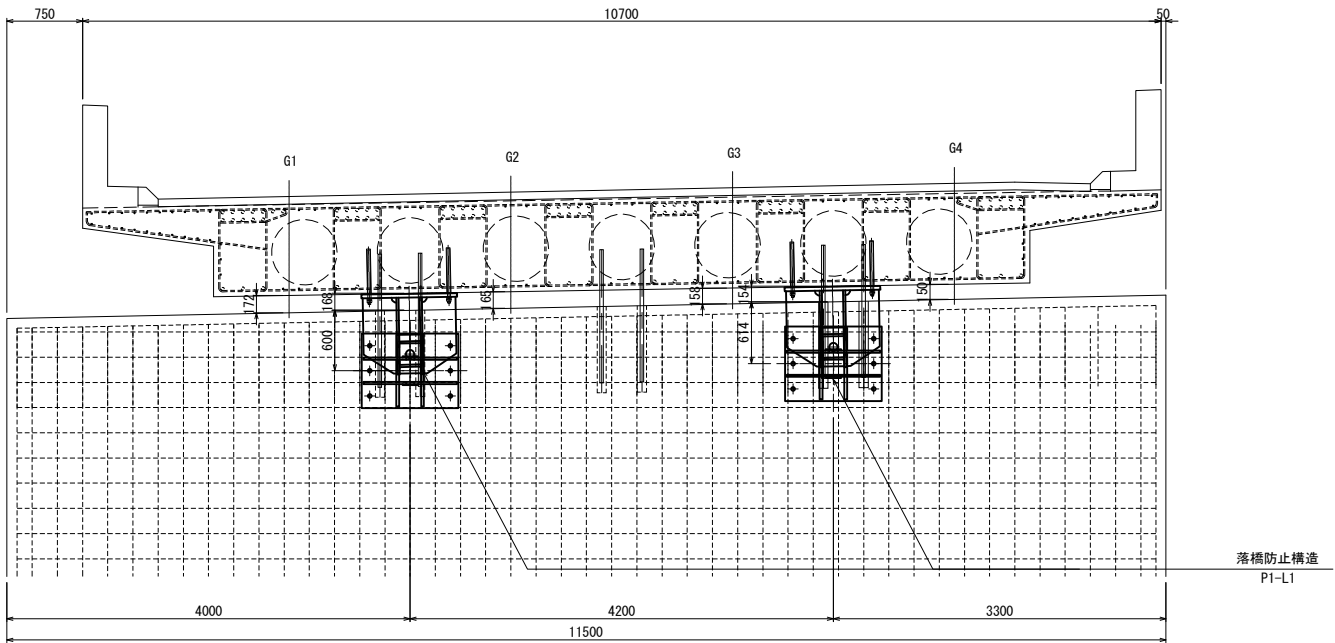
鉄筋曲げ加工表

注) 曲げ半径 (R=3 phi、5.5 phi) は鉄筋中心までの長さとする。				
径	theta <= 90° R=3 phi	theta > 90° R=5.5 phi	theta = 90° a delta L	
D13	39	71.5	61	17
D16	48	88	75	21
D29	87	159.5	137	37

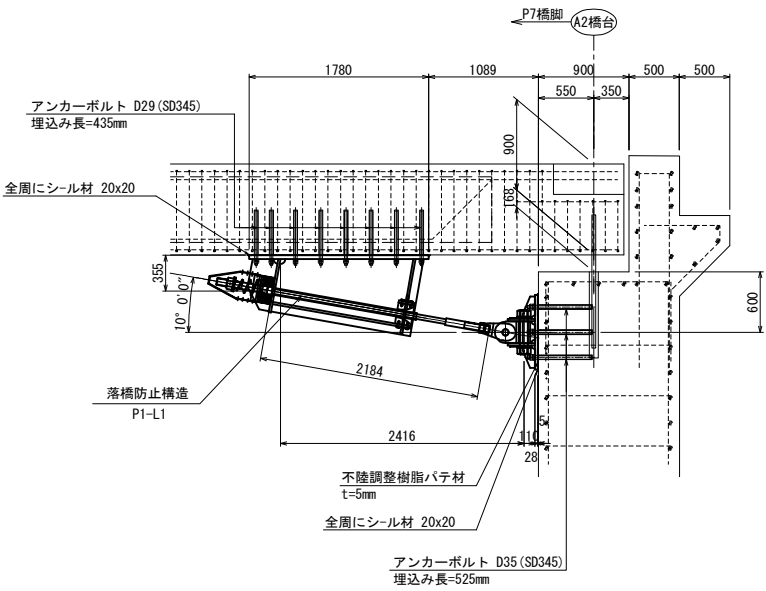
- 注記)
- コンクリートの設計基準強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ とし、鉄筋はSD345を使用する。
 - 本図の既設構造物の基準寸法部材寸法などは、すべて完成図を基に作図を行なっている。
 - 施工に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
 - 既設コンクリート表面は、新旧コンクリートの付着性をよくするため、WJによる表面処理を行うこと。
 - アンカー削孔前に鉄筋探索を行い、既設鉄筋を避けて施工のこと。
 - 縁端拡幅工及びR/C巻立てと、断面修復工が重複している範囲のWJ施工数量については、コンクリートはつり工で計上している。

上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	若穂高架橋（上り線） A 1 橋台 縁端拡幅工B 詳細図（その 2）		
縮 尺	図 示	図 面 番 号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 務 所		

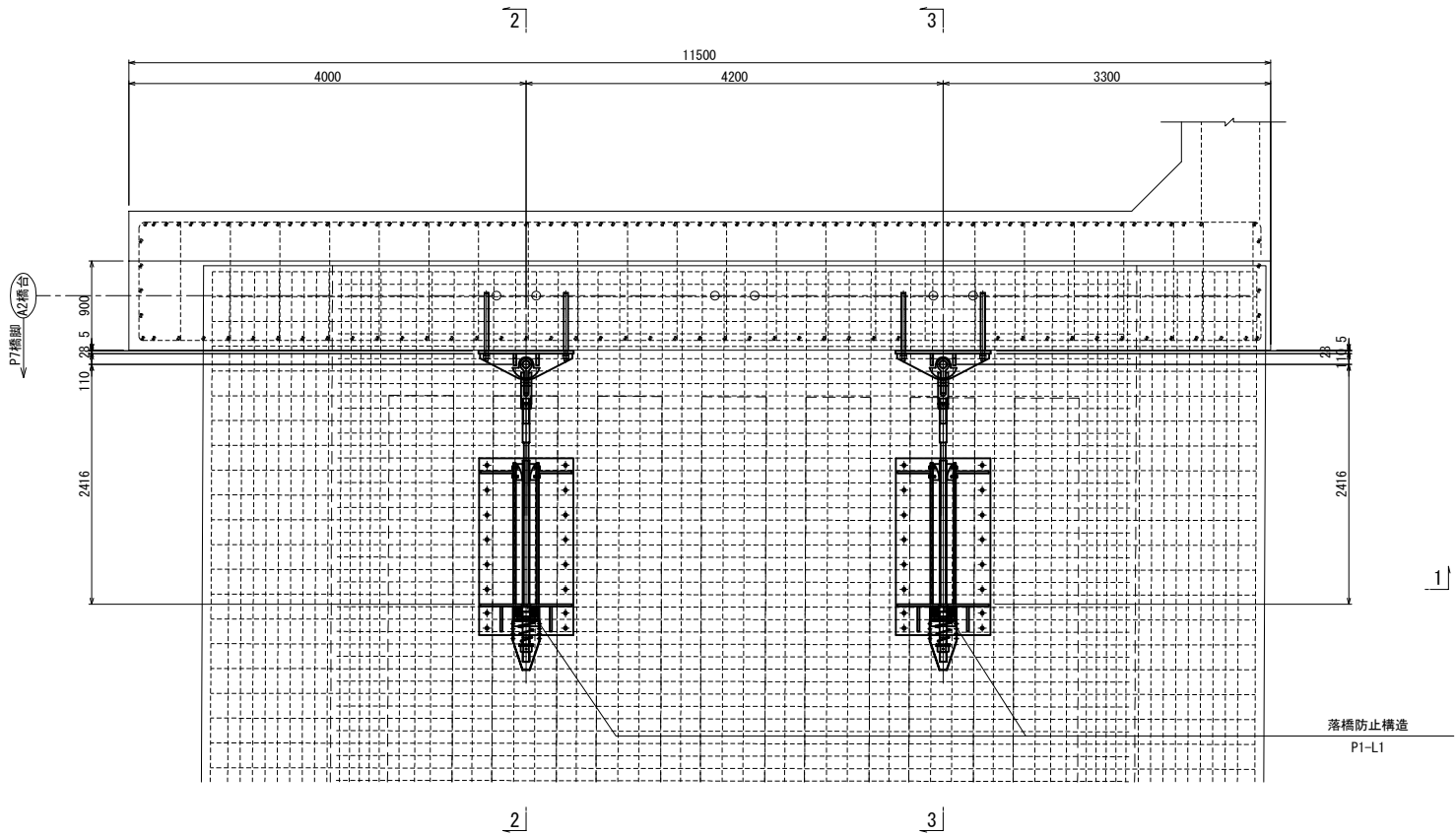
正面図
1 - 1



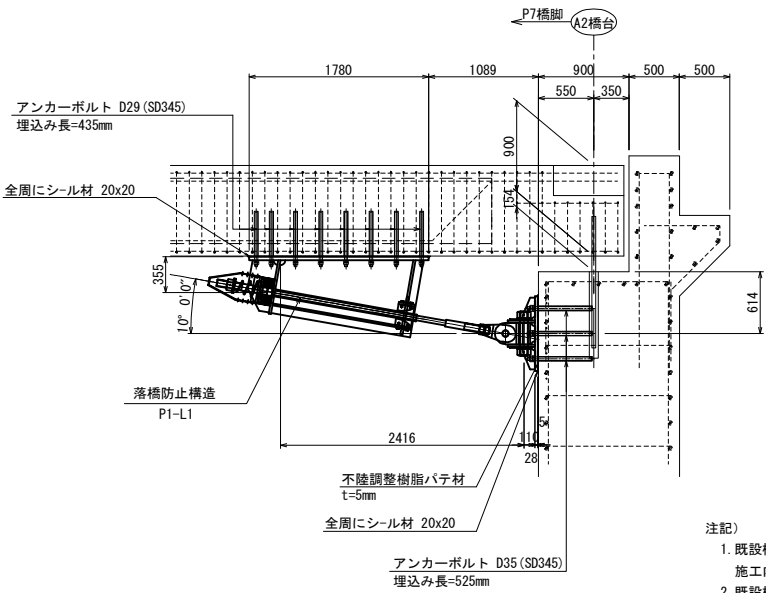
側面図
2 - 2



平面図



側面図
3 - 3

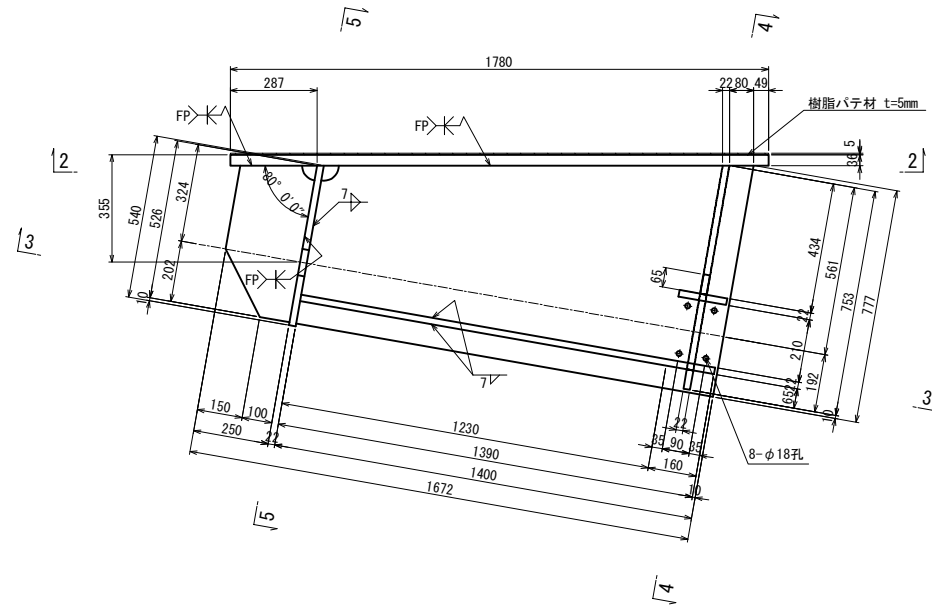


- 注記)
1. 既設構造物の形状を現地計測の上、必要に応じて、施工内容を精査すること。
 2. 既設構造物への削孔の際には、鉄筋探索等を実施し既設鉄筋を切断しないよう注意すること。必要に応じて、削孔位置、アンカー位置を調整し部材の製作に反映すること。
 3. アンカーボルトの定着は、既設構造物より150 (D:アンカー径)以上確保すること。

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	若穂高架橋（上り線） A 2 橋台 落橋防止構造 P 1—L 1 構造詳細図（その 1）		
縮 尺	1:75	図 面 番 号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		

上部エブラケット

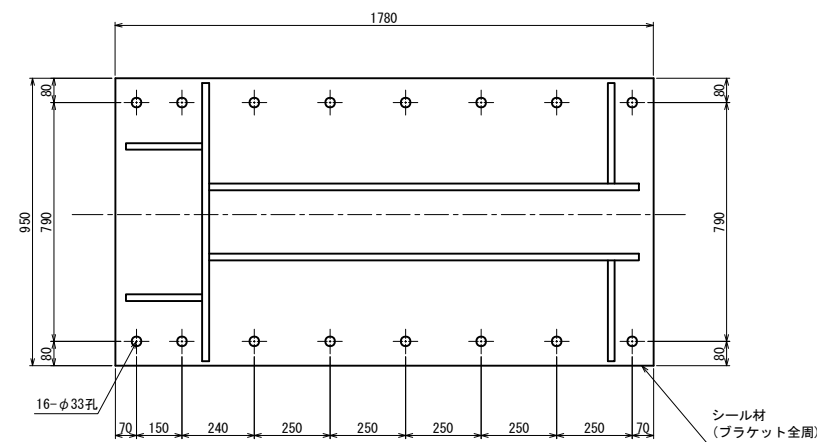
側面図
1 - 1



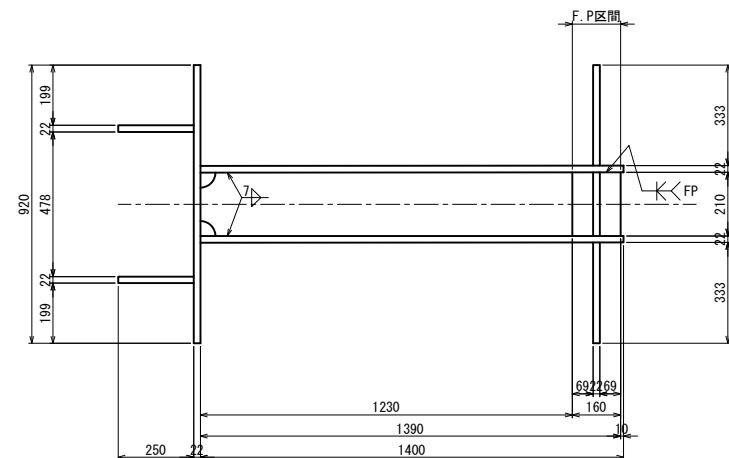
ブラケット1基当り(製作数: 2基)

- 2-PL 250x22x526
2-PL 777x22x1400
2-PL 333x22x753
2-PL 65x22x210
1-PL 210x22x1390
1-PL 160x22x210
1-PL 920x22x540
1-PL 950x36x1780 (SM400B)
16-Anc Bolt D29x540 (SD345)
16-1種 Nut M27用 (SS400)
16-3種 Nut M27用 (SS400)
16-WASHER M27用 (SS400)

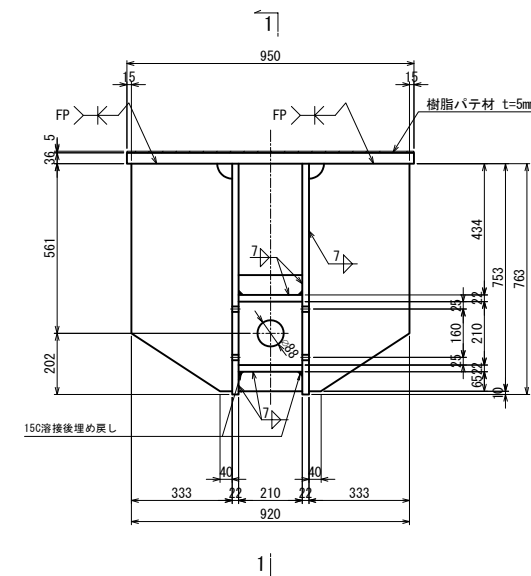
2 - 2



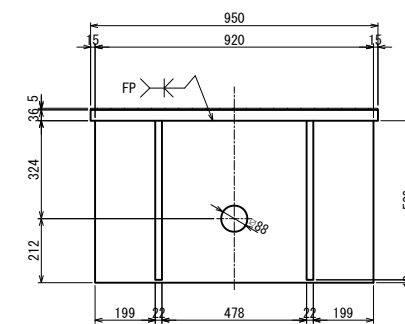
3 - 3



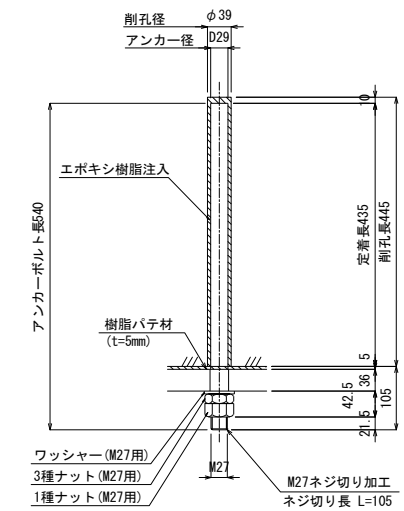
4 - 4



5 - 5



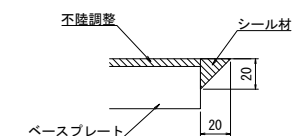
上部エアンカーボルト詳細図 S=1:12.5



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

材料：(1本当り)
 1-Anc Bolt D29x540 (SD345)
 1-1種 Nut M27用 (SS400)
 1-3種 Nut M27用 (SS400)
 1-WASHER M27用 (SS400)

シール材詳細図 S=1:4

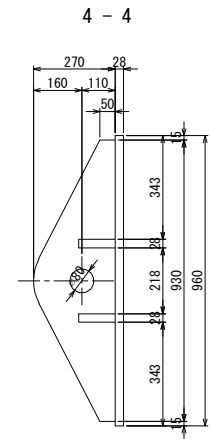
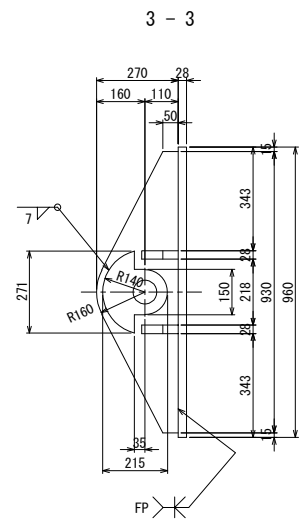
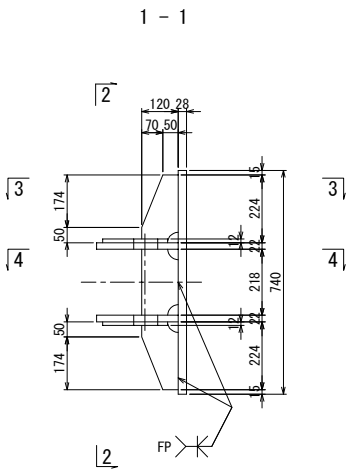


注記)

1. 特記なき材質は全てSM400Aとする。
2. 特記なきスカラーラップは全てR50とする。
3. 工場製作は現場計測の上、最終決定のこと。
4. 部材は、全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
膜厚は、JIS H0401 H0217とする。
ただし、ボルト・ナット類はH02T49とする。
5. 既設コンクリートへの穿孔の際には、鉄筋探査を実施し、既設鉄筋は切断しないこと。
また、既設鉄筋と干渉した場合は、断面照査の上に、アンカーボルト位置の調整を行うこと。
6. FP表記の開先階着の箇所は、完全ジョイントみ溶接を用いる。

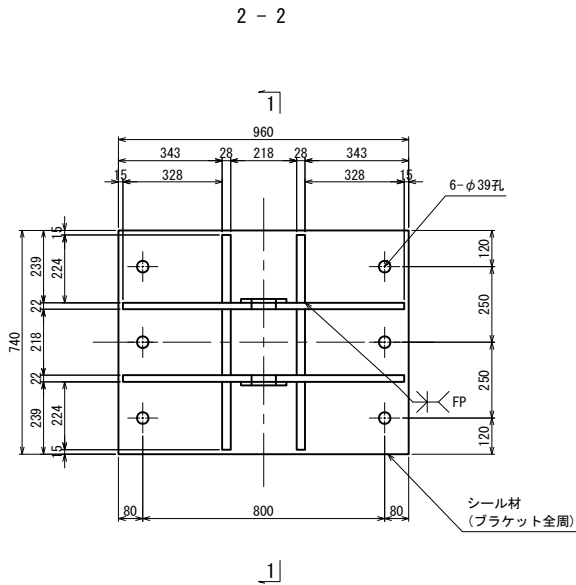
上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事	
図面の種類	若穂高架橋（より線） A 2 橋台 落橋防止構造 P ー L 1 構造詳細図（その 2）
縮 尺	図 示 図面番号
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速度道路株式会社 関東支所 長 野 工 事 所

下部エブラケット

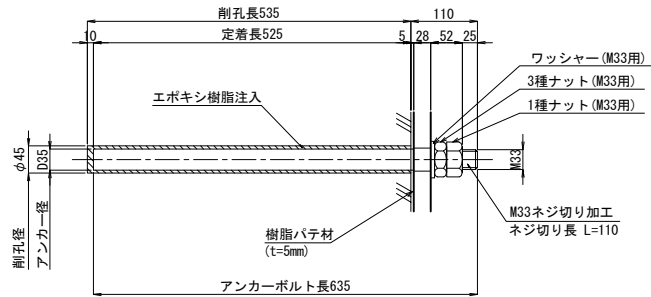


ブラケット1基当り（製作数：2基）

- 2-PL 215x12x271
- 2-PL 270x22x930
- 4-PL 120x28x224
- 2-PL 120x28x218
- 1-PL 740x28x960
- 6-Anc Bolt D35x635 (SD345)
- 6-1種 Nut M33用 (SS400)
- 6-3種 Nut M33用 (SS400)
- 6-WASHER M33用 (SS400)



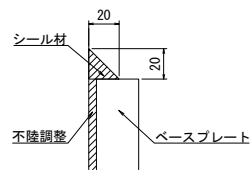
下部エアンカーボルト詳細図 S=1:12.5



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

- 材料：(1本当り)
- 1-Anc Bolt D35x635 (SD345)
 - 1-1種 Nut M33用 (SS400)
 - 1-3種 Nut M33用 (SS400)
 - 1-WASHER M33用 (SS400)

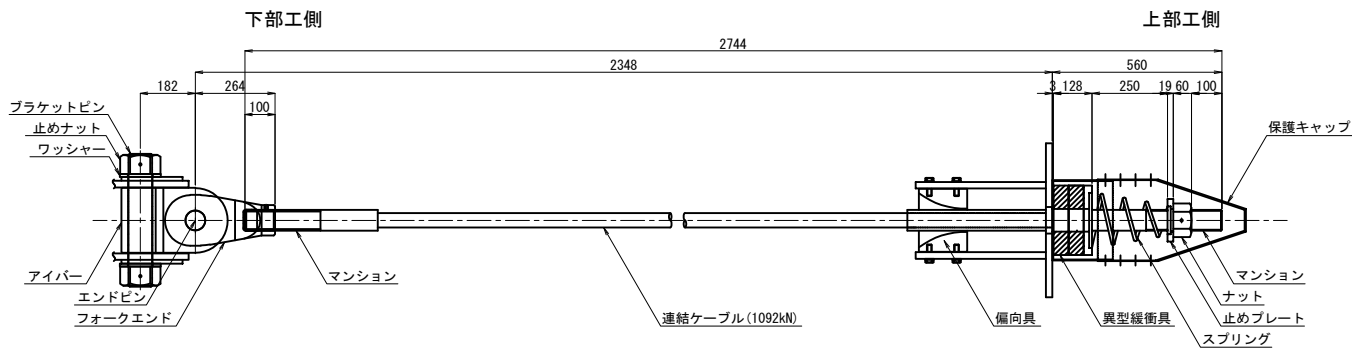
シール材詳細図 S=1:4



- 注記)
- 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 - 特記なきスカーラップは全てR50とすること。
 - 工場製作は現場計測の上、最終決定のこと。
 - 部材は、全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
膜厚は、JIS H0401 HDZT77とする。
ただし、ボルト・ナット類はHDZT49とする。
 - 既設コンクリートへの削孔の際には、鉄筋探査を実施し、既設鉄筋は切断しないこと。
また、既設鉄筋と干渉した場合は、断面照査の上に、アンカーボルト位置の調整を行うこと。
 - FP表記の開先溶接箇所は、完全溶け込み溶接を用いる。

上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	若穂高架橋（上り線） A 2 橋台 落橋防止構造 P 1—L 1 構造詳細図（その 3）		
縮 尺	図 示	図 面 番 号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

取付詳細図

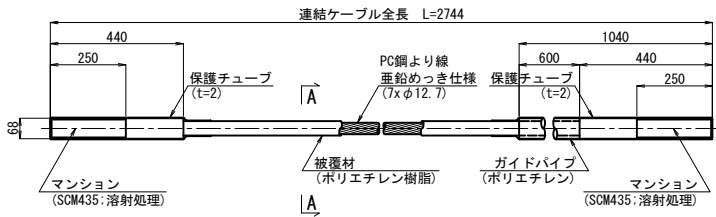


材 料 表（落橋防止構造1本当たり）

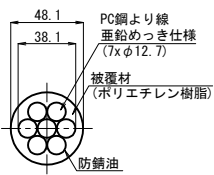
全2本

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
連結ケーブル	F130TDU L=2744mm	本	1	PC鋼より線、ポリエチレン被覆
(マンション)	F130TD用 標準	個	2	SCM435、ネジきり標準〈ケーブルに組込〉
(ガイドパイプ)	F130TD用 600mm	本	1	ポリエチレン 〈ケーブルに組込〉
ナット	F130TD用	個	1	S45C; 亜鉛めっき (HDZ55)
止めプレート	F130TD用	個	1	SS400; 亜鉛めっき (HDZ55)
スプリング	F130TD用 L=400	個	1	SW-C; 亜鉛めっき、クロメート処理
異型緩衝具	F130TD用	個	1	SS400; 亜鉛めっき (HDZ55) + 合成ゴム
偏向具	F130TD用	個	1	ポリエチレン
(取付ボルト)	M16x50 1W付	本	8	SS400相当品; 亜鉛めっき (HDZ35) 接着剤付
保護キャップ	F130TD用	組	1	ポリエチレン; 8-止めビス付
ブラケットピン	F130TD用	本	1	SCM435、ダクロダイズド処理、DMコート
止めナット	F130TD用	個	2	S45C、亜鉛めっき (HDZ55)
ワッシャー	F130TD用	個	2	SS400; 亜鉛めっき (HDZ55)
アイバー	F130TD用	個	1	S45C、亜鉛めっき (HDZ55)
フォークエンド	F130TD用	個	1	S45C、亜鉛めっき (HDZ55)
エンドピン	(ピン)	本	1	SCM435、ダクロダイズド処理、DMコート
(止めプレート)	F130TD用	個	1	SS400、亜鉛めっき

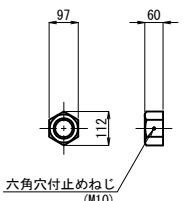
連結ケーブル



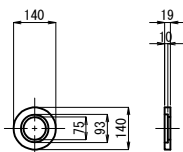
A-A断面図 S=1:5



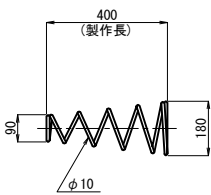
ナット (S45C: 亜鉛めっき)



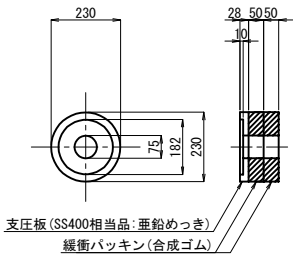
止めプレート (SS400相当品: 亜鉛めっき)



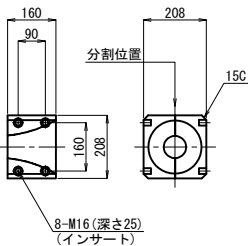
スプリング (SW-C: 亜鉛めっき, クロメート処理)



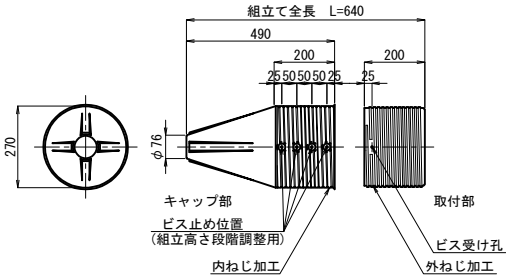
異型緩衝具 (支圧板+緩衝パッキン)



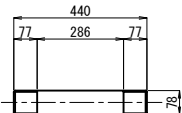
偏向具 (ポリエチレン)



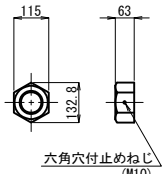
保護キャップ (ポリエチレン)



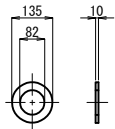
ブラケットピン (SCM435: DMコート)



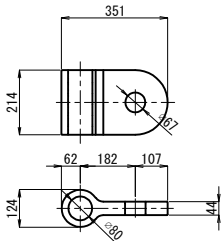
止めナット (S45C: 亜鉛めっき)



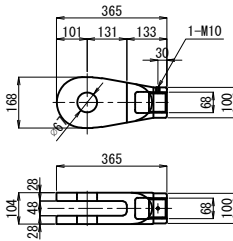
ワッシャー (SS400: 亜鉛めっき)



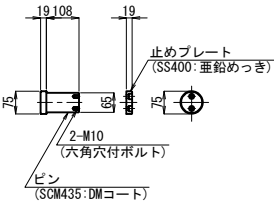
アイバー (S45C: 亜鉛めっき)



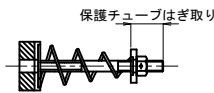
フォークエンド (S45C: 亜鉛めっき)



エンドピン (ピン+止めプレート)



マンション端部処理

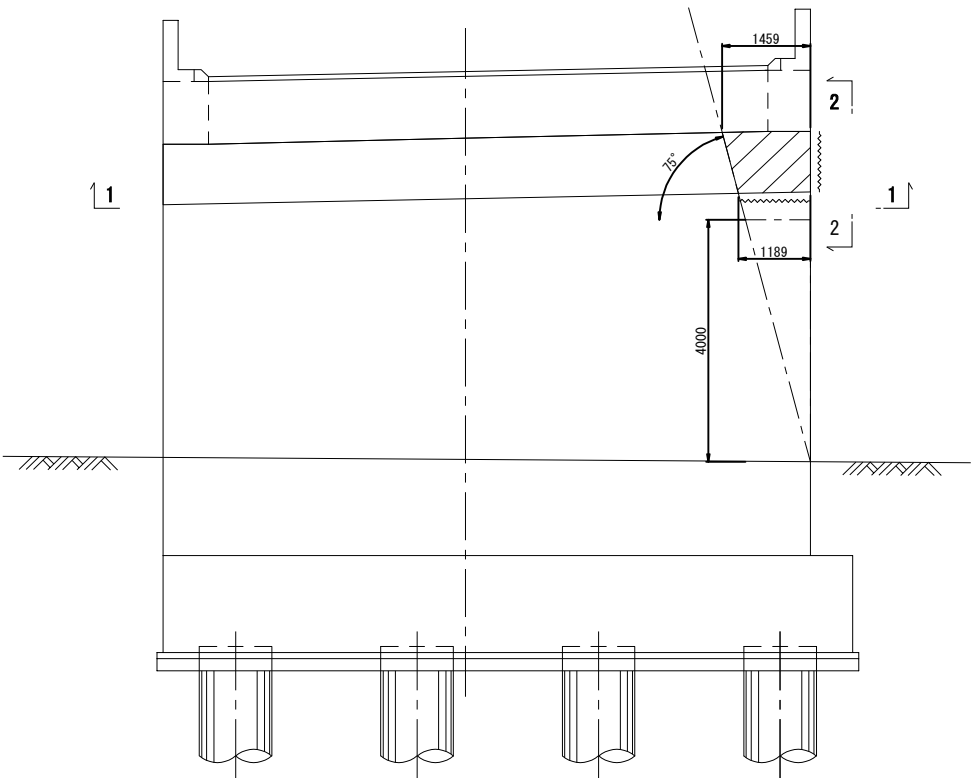


※取付前に保護チューブをはぎ取る。
取付後はマンション先端ねじ部に
防錆処理をおこなうこと。

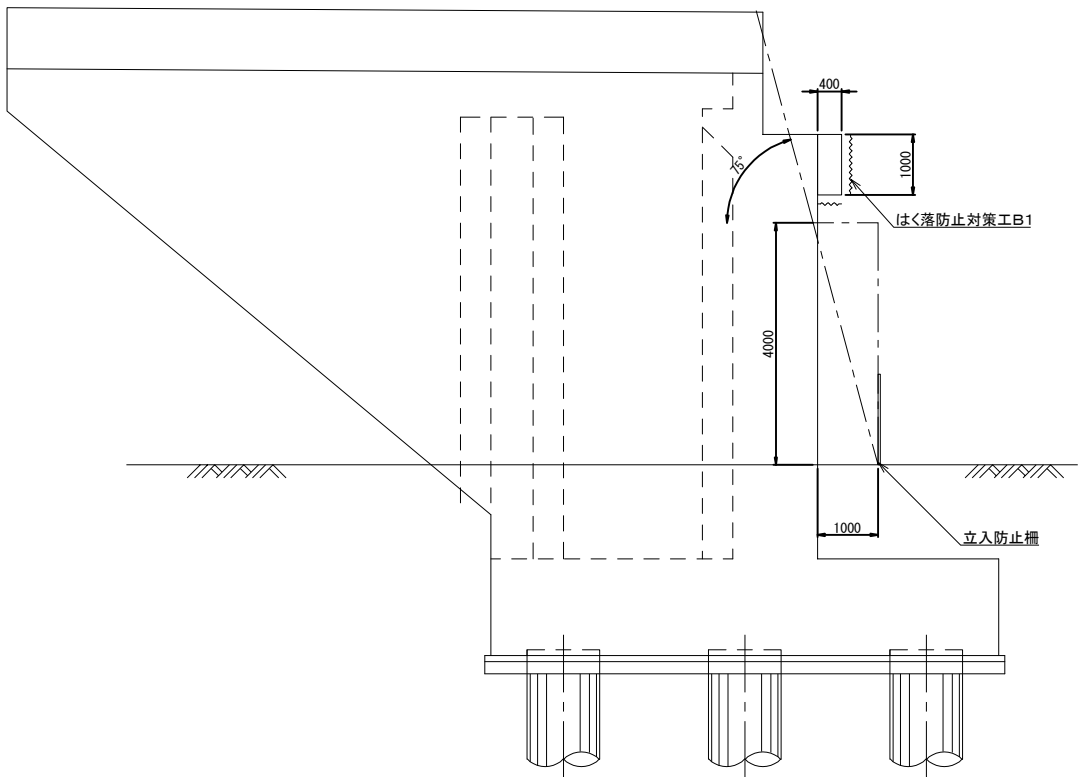
注記)
1. 連結ケーブルの製作は、現場にて取付間
距離を確認のうえ、おこなうこと。

上 信 越 自 動 車 道			
豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	若穂高架橋（上り線） A 2 橋台 落橋防止構造 P 1—L 1 構造詳細図（その 4）		
縮 尺	図 示	図 面 番 号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 務 所		

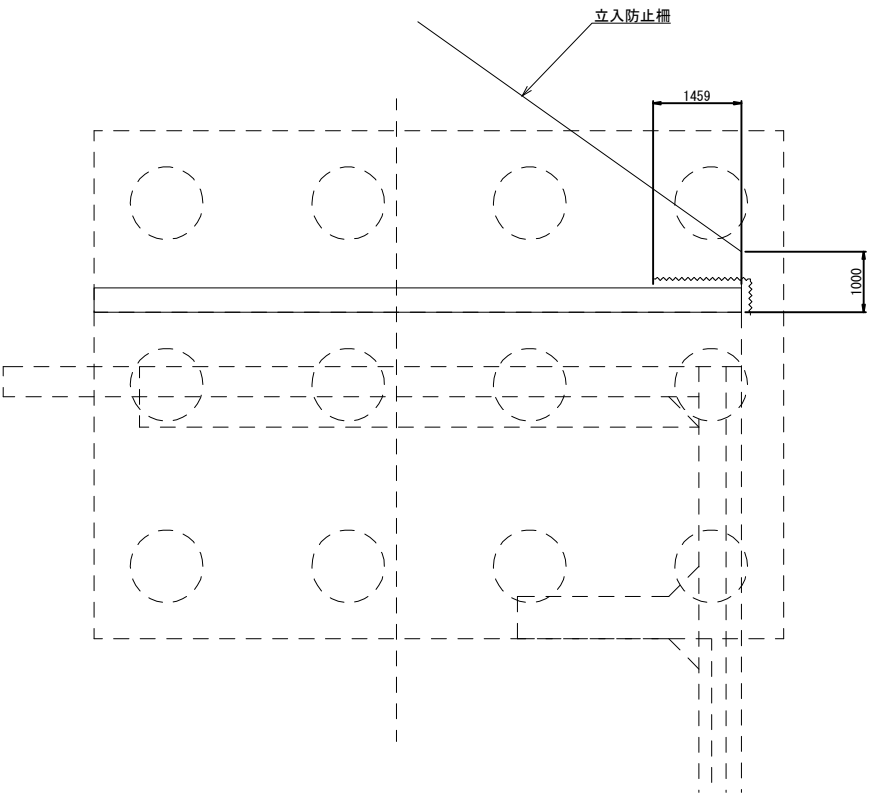
正面図



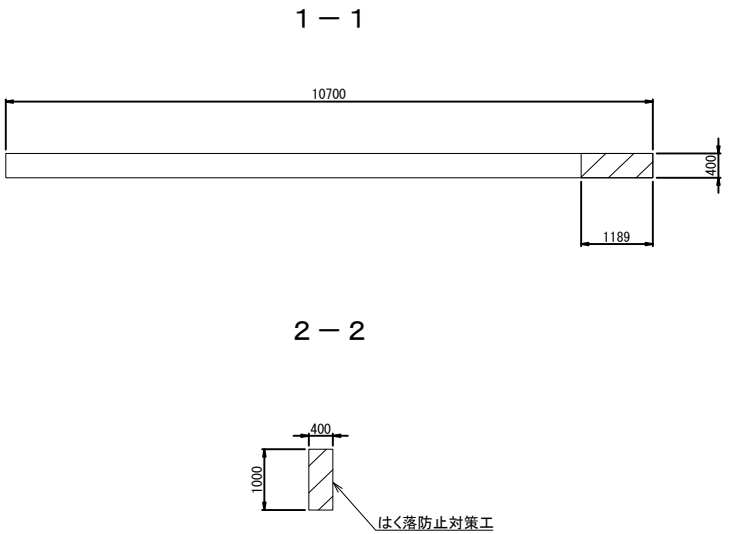
側面図



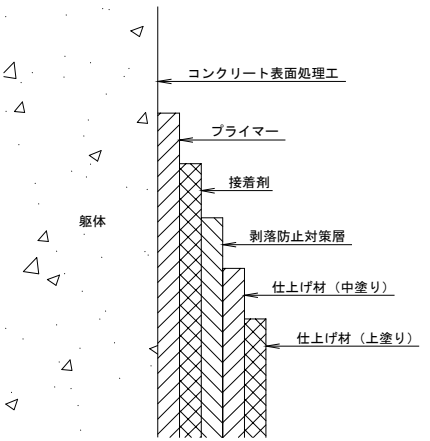
平面図



断面図



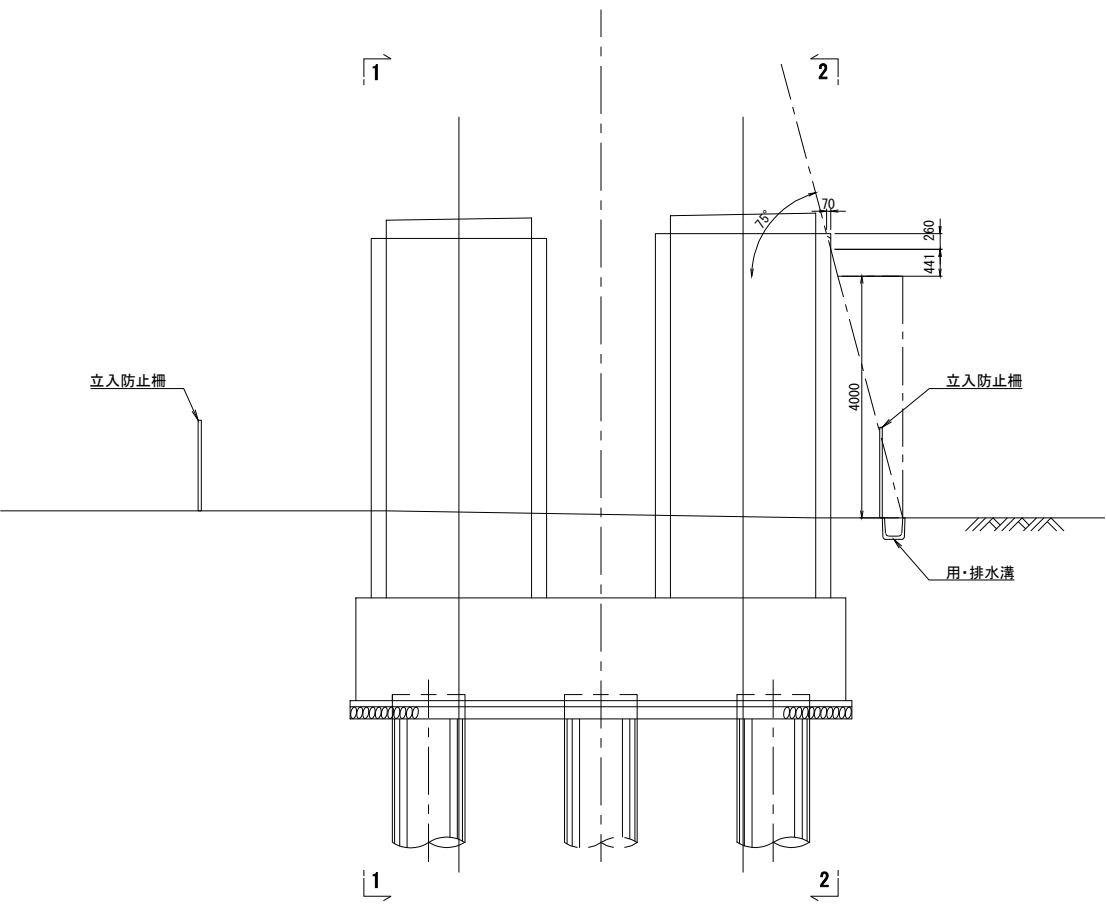
はく落防止対策工 標準図



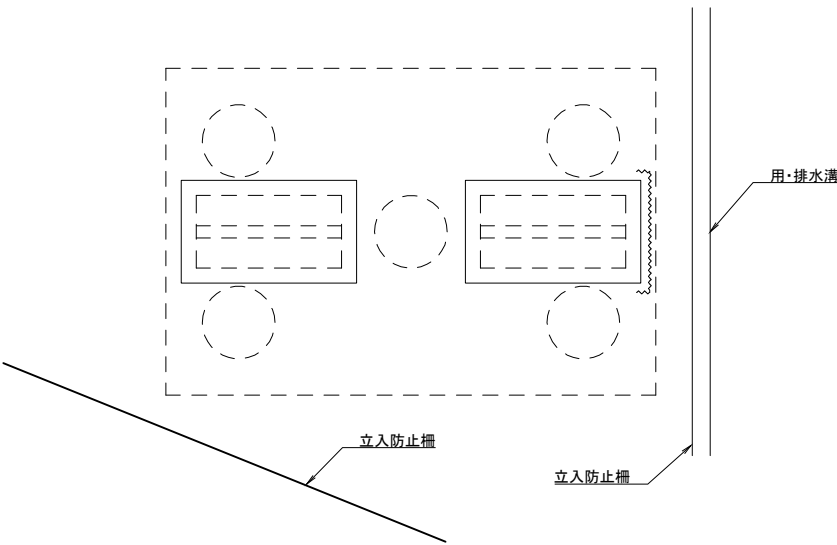
注記)
1. 対策範囲については、現地調査を行い、
監督員との協議の上決定すること。

上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	若穂高架橋（上り線） A 1 橋台		
	はく落防止対策工 B 1 一般図		
縮 尺	1:125	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 務 所		

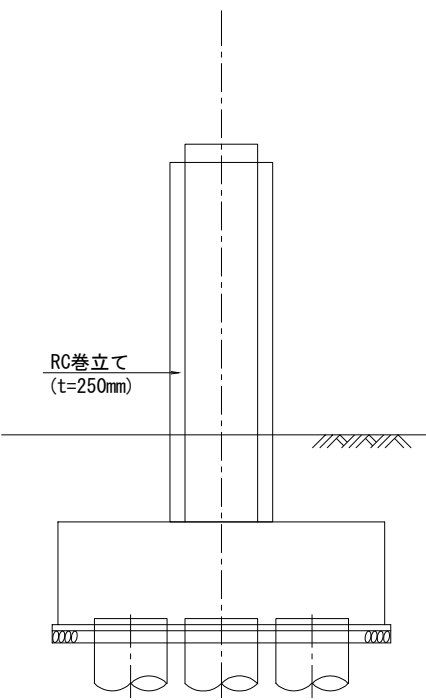
正面図



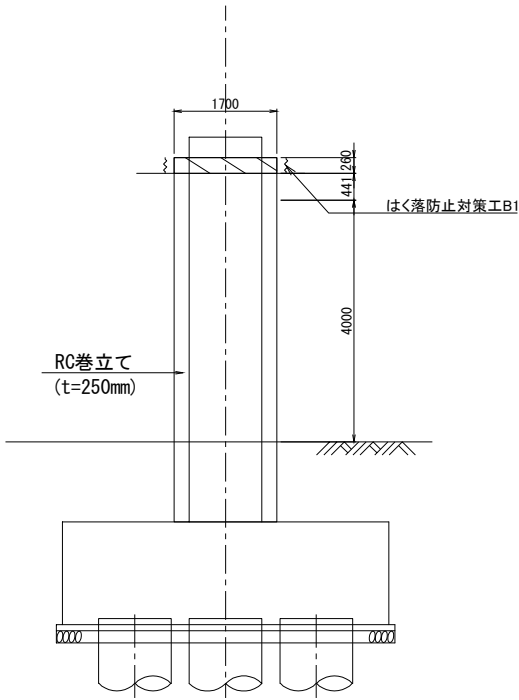
平面図



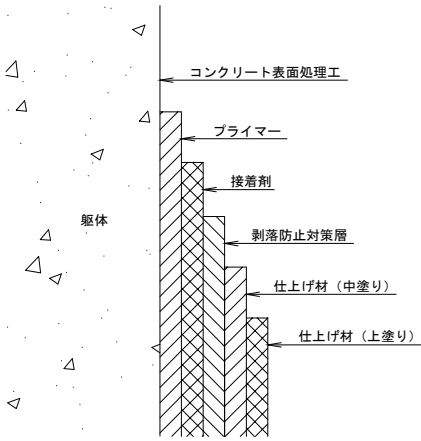
側面図
1 - 1



側面図
2 - 2



はく落防止対策工 標準図



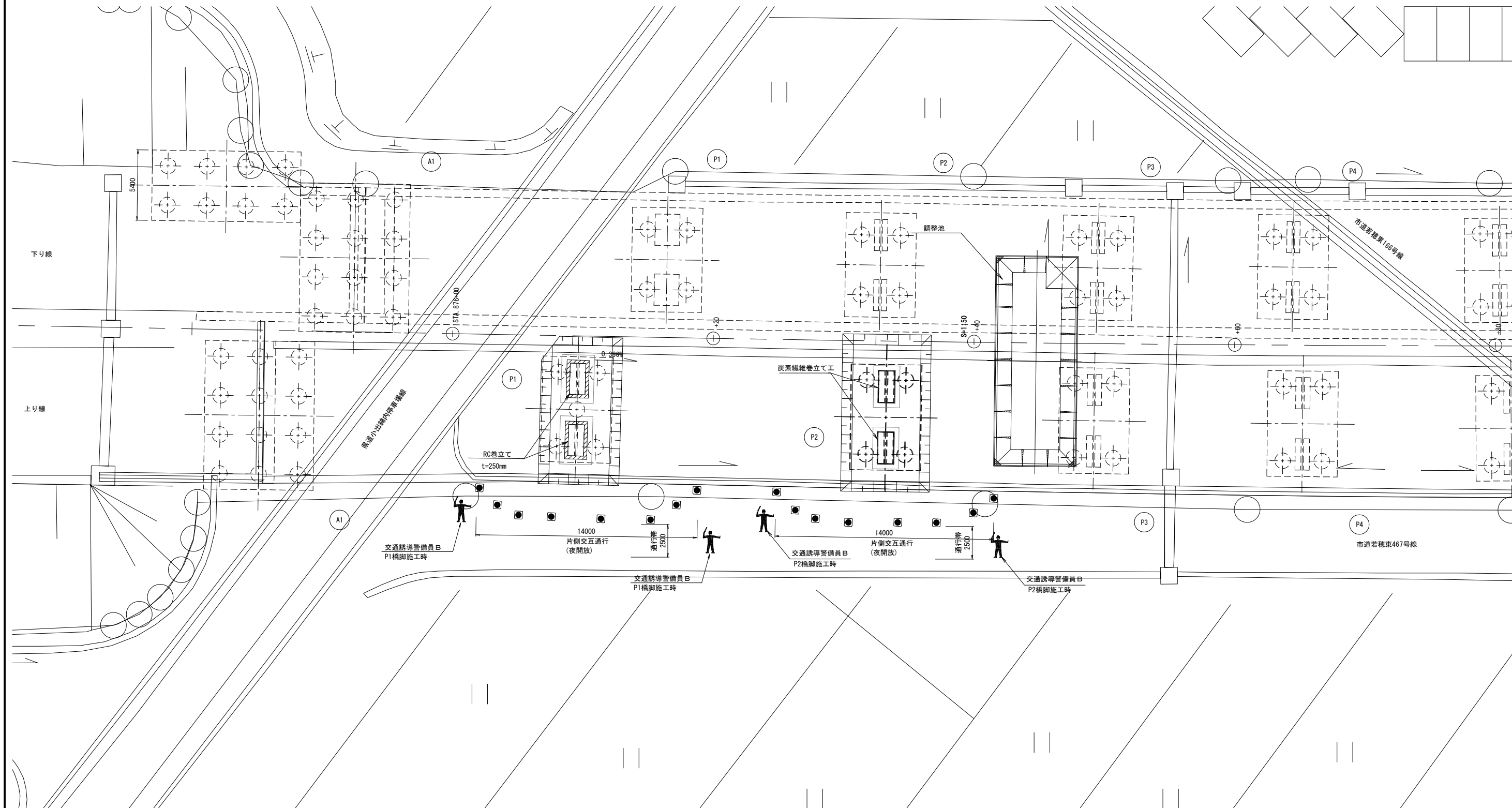
注記
1. 対策範囲については、現地調査を行い、
監督員との協議の上決定すること。

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	若穂高架橋（上り線） P 1 橋脚 はく落防止対策工B 1 一般図		
縮 尺	1:125	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務所		

若穂高架橋（上り線）交通保安要員 交通誘導警備員 配置図（その1）
交通誘導警備員B2 RC巻立て・炭素繊維巻き立て工施工時

S=1:300

平面図



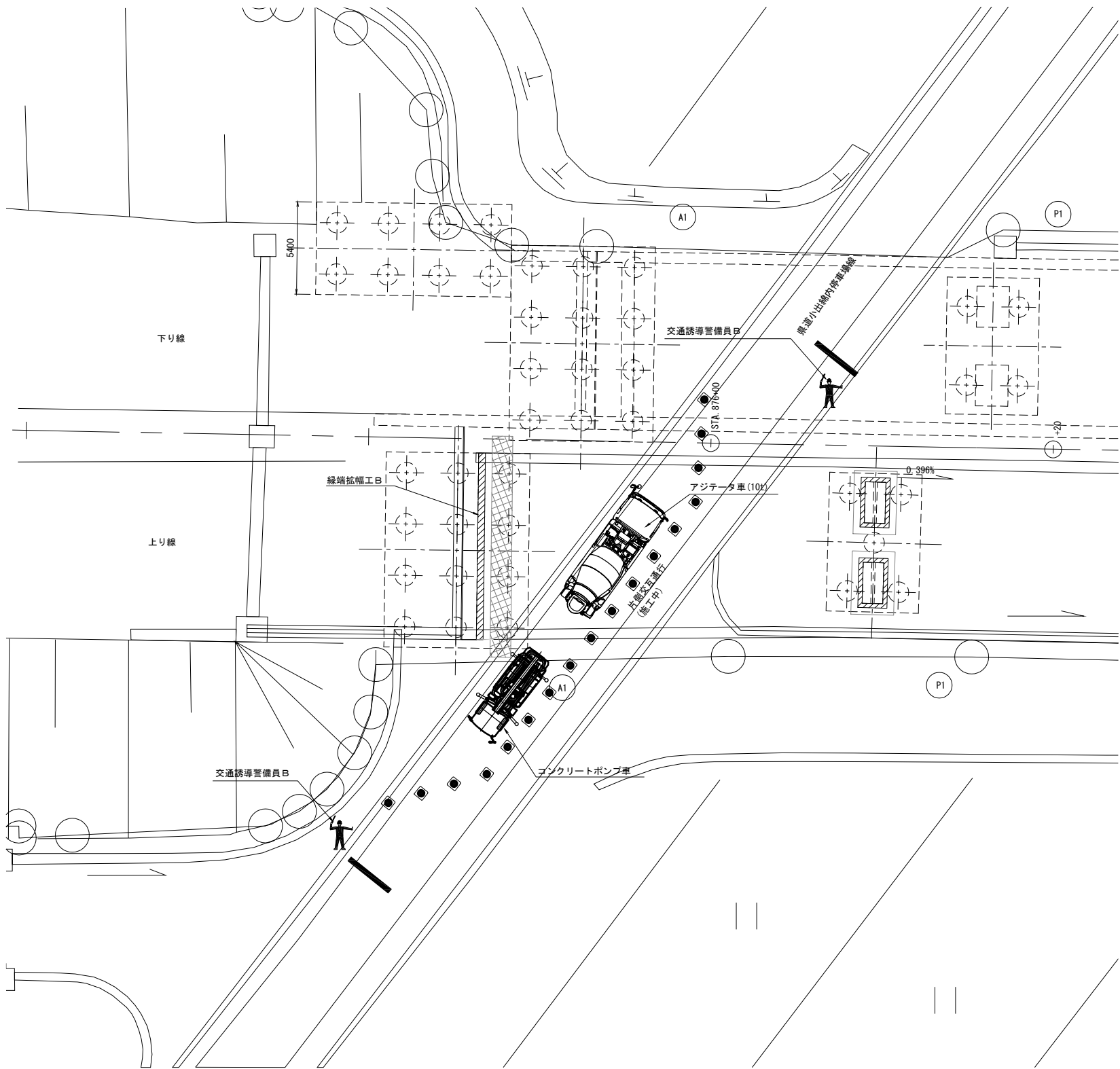
注記)
1. 施工内容に応じて、交通保安要員の配置を監督者と協議すること。

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
若穂高架橋(上り線)			
図面の種類	交通保安要員 交通誘導警備員 配置図 (その1)		
縮尺	1:300	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務事務所		

若穂高架橋（上り線）交通保安要員 交通誘導警備員 配置図（その2）
交通誘導警備員B 2 縁端拡幅工B施工時

S=1:300

平面図
A1橋台施工時

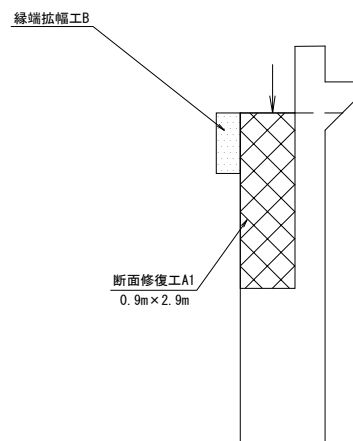


注記)
1. 施工内容に応じて、交通保安要員の配置を監督者と協議すること。

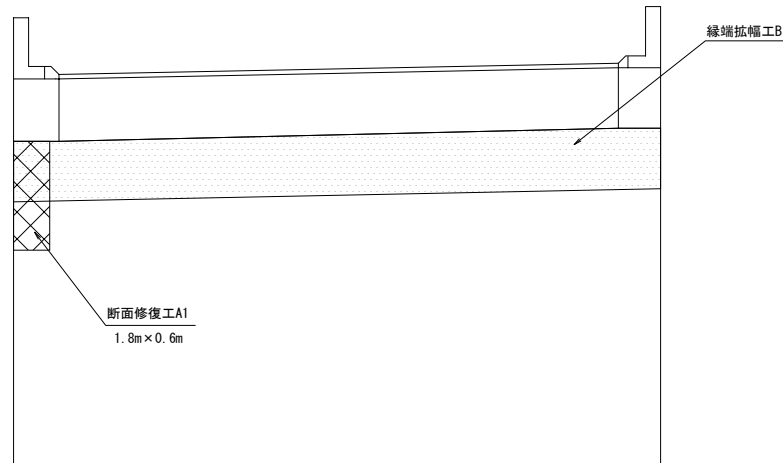
上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	若穂高架橋(上り線)		
	交通保安要員 交通誘導警備員 配置図 (その2)		
縮 尺	1:300	図 面 番 号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 事 務 所		

断面修復工詳細図 S=1:25

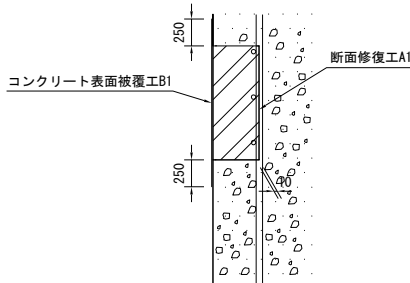
側面図 S=1:125



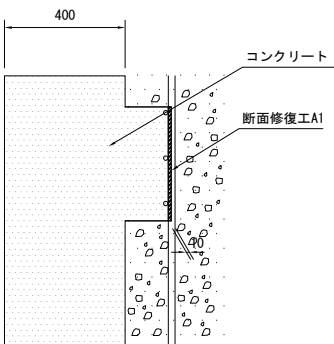
正面図 S=1:125



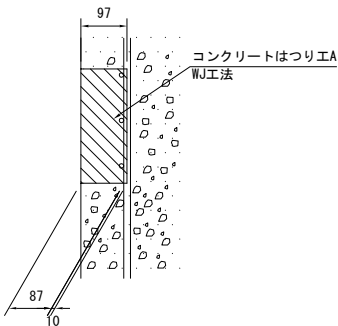
縁端拡幅部と重複しない箇所



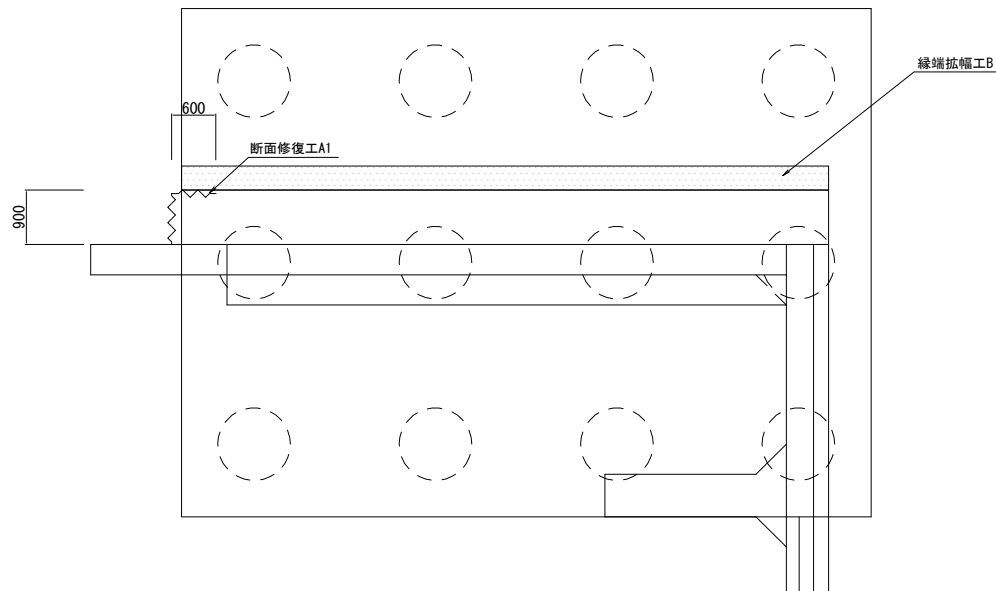
縁端拡幅部と重複する箇所



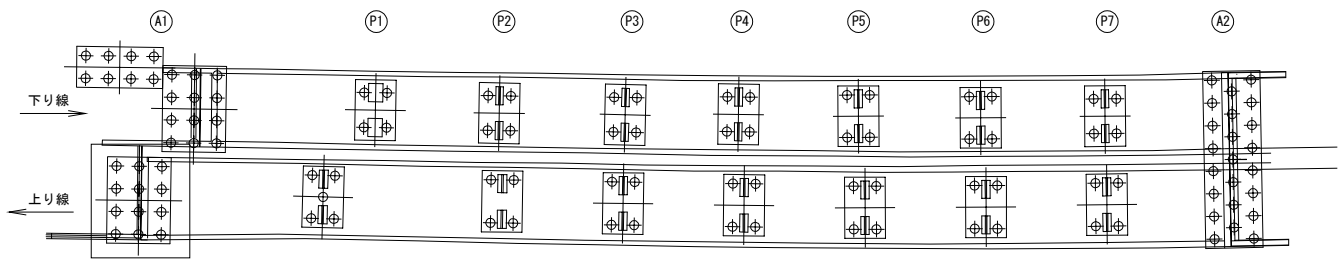
はつり工詳細図 S=1:25



平面図 S=1:125



概略位置図 S=1:1000



凡例

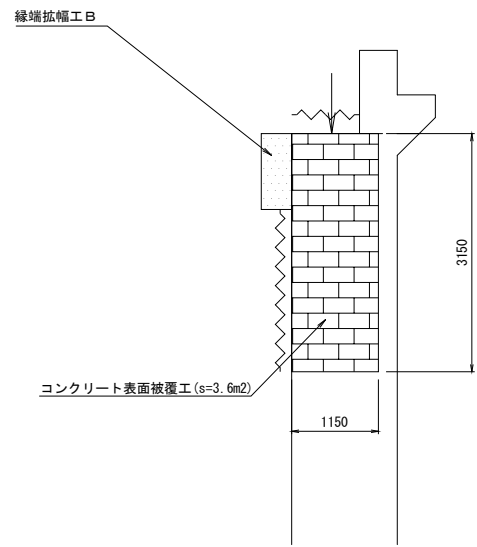
- 変状箇所
- コンクリート打設箇所
- PCM施工箇所

注記)

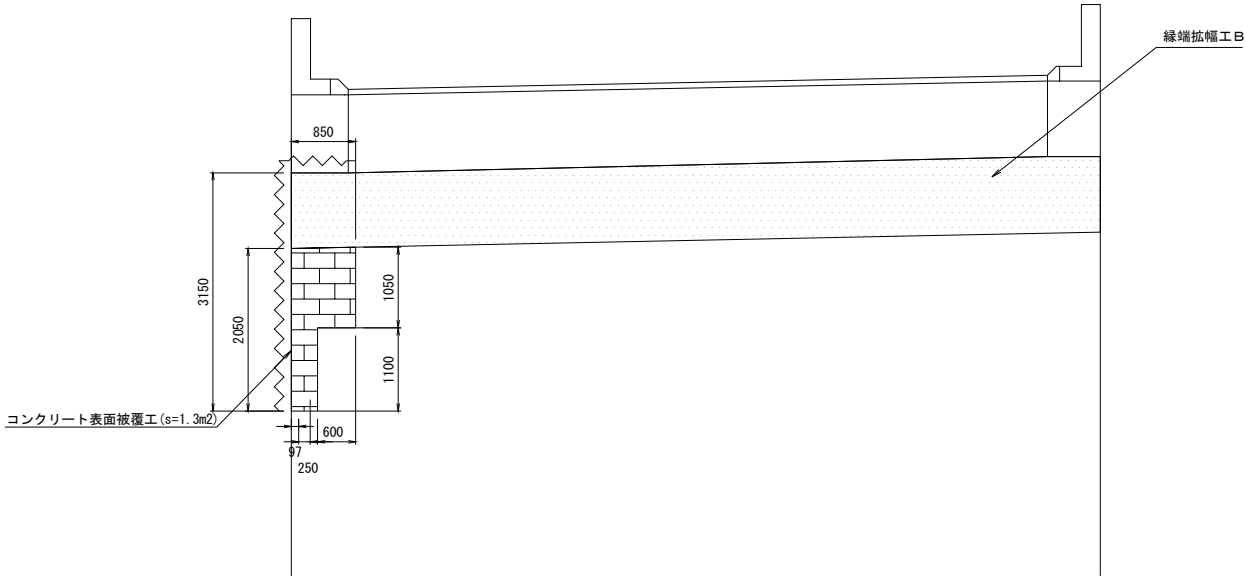
- 対策範囲については、現地で浮き、はく離等の損傷範囲を再確認し、監督員と協議の上決定すること。
- はつり深さについては、第1鉄筋背面+10mmまでとする。
- 縁端拡幅工及びRC巻立てと、断面修復工が重複している範囲のWJ施工数量については、コンクリートはつり工で計上している。

上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	若穂高架橋（上り線） A 1 橋台 断面補修工 A 1 詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 務 所		

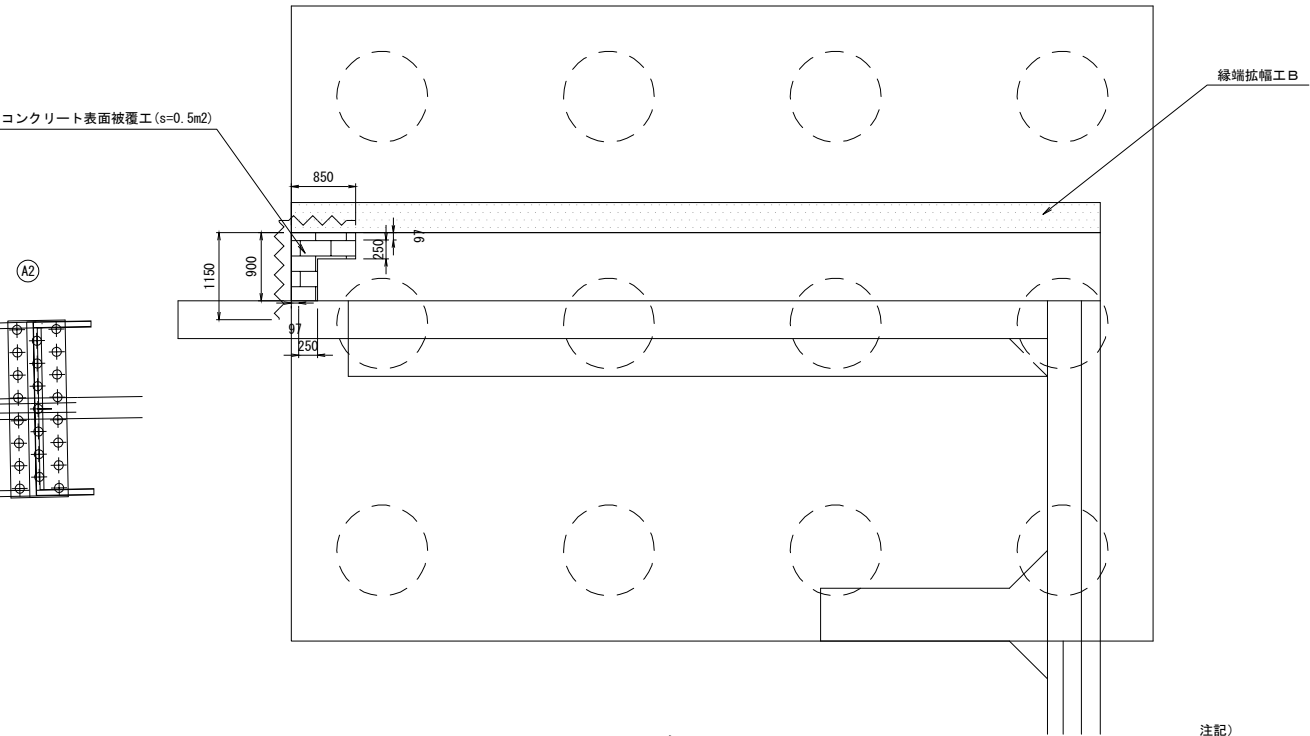
側面図 S=1:100



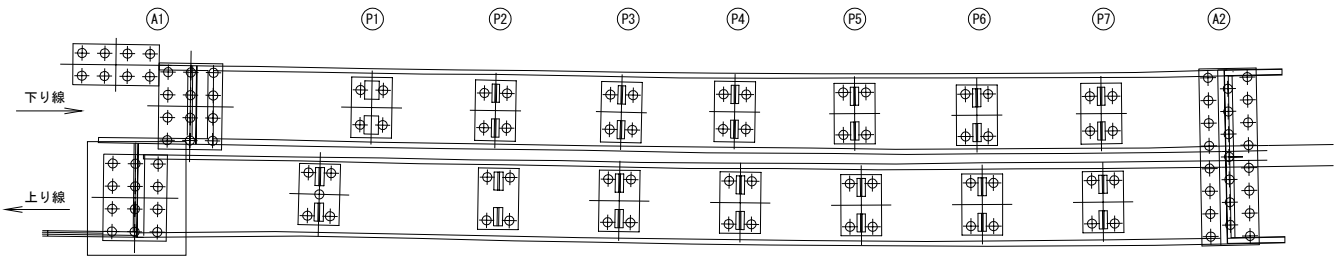
正面図 S=1:100



平面図 S=1:100



概略位置図 S=1:1000



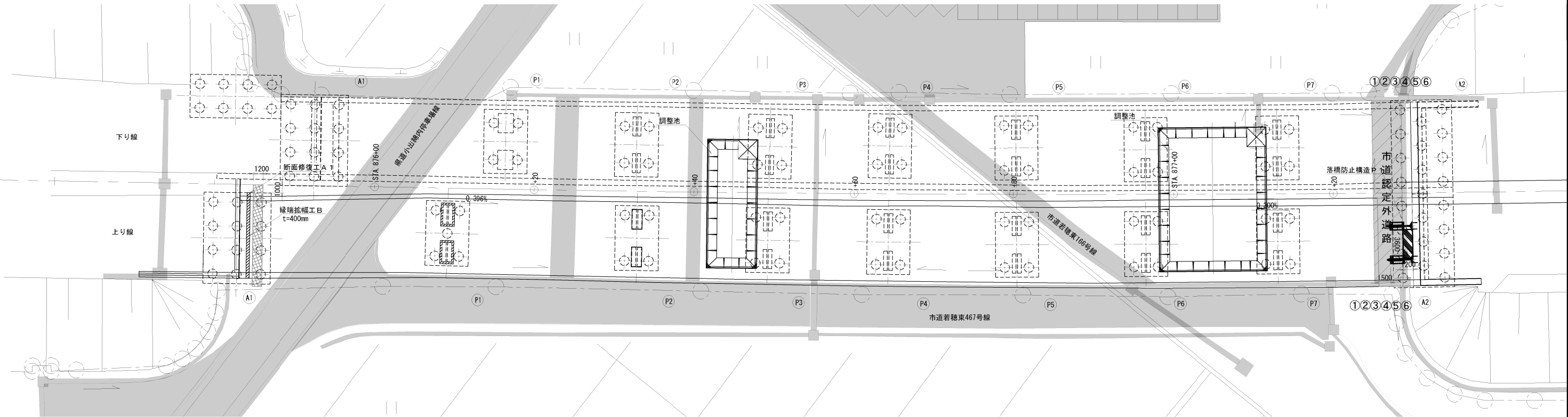
凡例

- 断面修復工箇所
- コンクリート打設箇所
- コンクリート表面被覆工箇所

注記)
1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
2. 既設構造物の形状を現地計測の上、必要に応じて、
施工内容を精査すること。

上 信 越 自 動 車 道			
豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	若穂高架橋（上り線） A 1 橋台 コンクリート表面被覆工詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 務 所		

平面図



保安施設設置一覧

記号	保安施設
①	矢印板
②	規制標識
③	工事情報看板
④	工事説明看板
⑤	迂回路標示板
⑥	通行止め看板

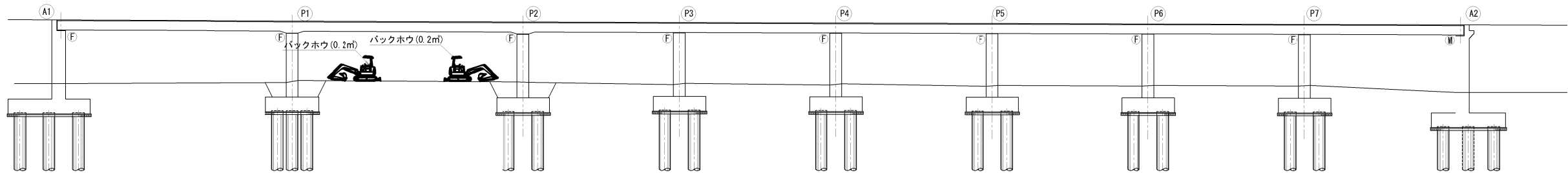
注記)
1. A 2 橋台側の市道認定外道路を通行止めとする。
2. 保安施設等の位置及び設置間隔、保安施設の設置内容等は
当該警察署と協議し決定することとする。

通行止め箇所

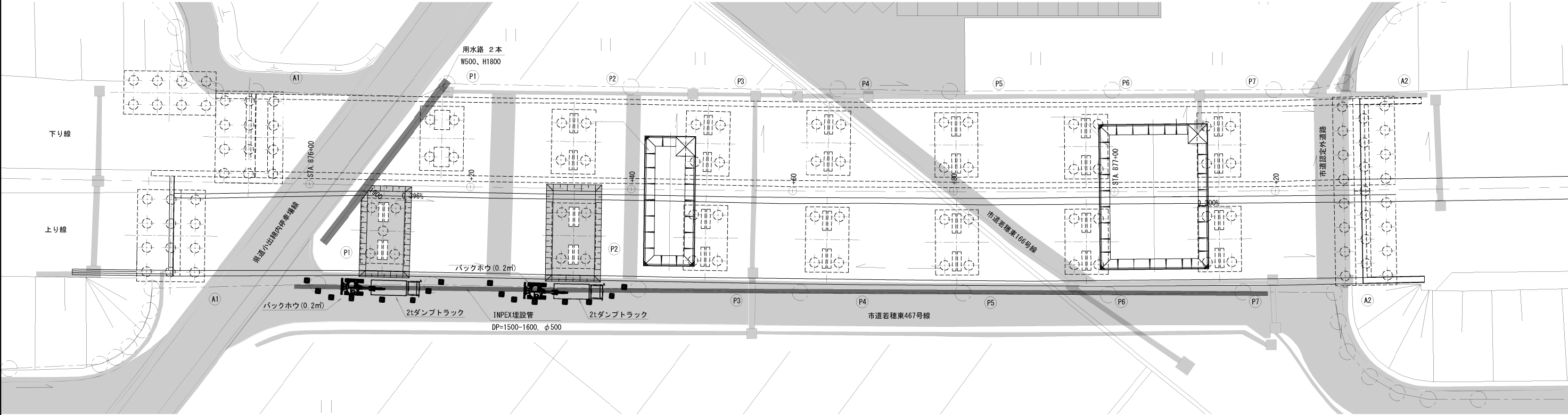
上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	若穂高架橋（上り線）		
	通行止め計画図（参考図）		
縮 尺	1:500	図 面 番 号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事 務 所 名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工 事 事 務 所		

若穂高架橋（上り線） 施工要領図（その1）（参考図） S=1:500
構造物掘削工（普通部A）

側面図

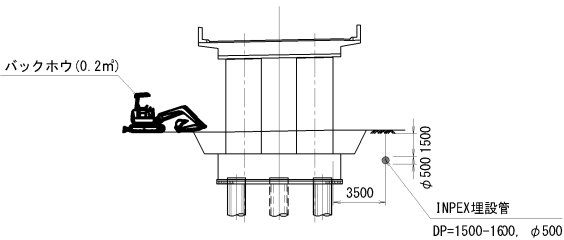


平面図

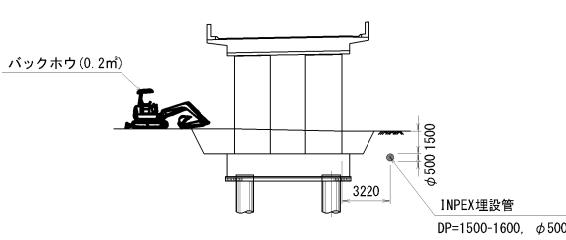


断面図

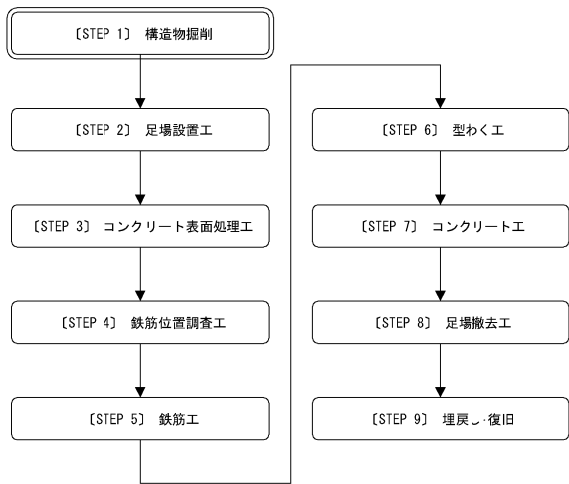
P1橋脚



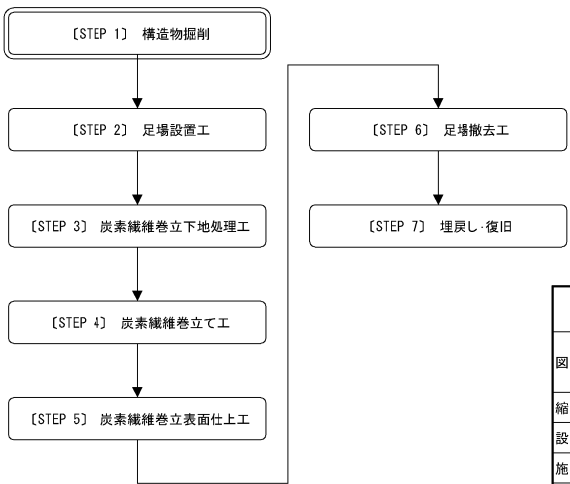
P2橋脚



RC巻立て工 施工フロー(P1橋脚)



炭素繊維巻立て工 施工フロー(P2橋脚)



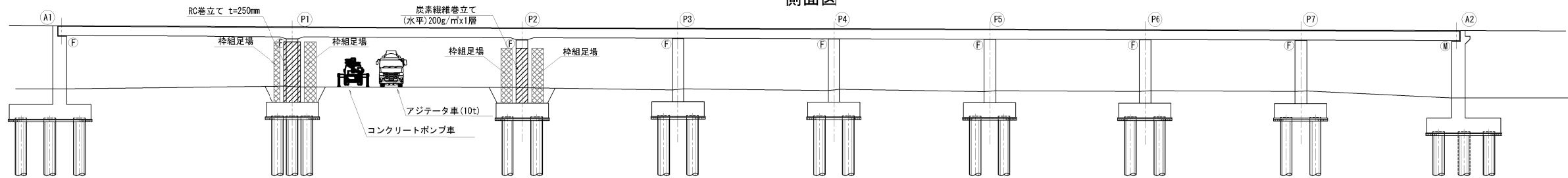
注記
1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
2. 既設構造物の形状を現地計測の上、必要に応じて、施工内容を精査すること。

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
図面の種類	若穂高架橋（上り線） 施工要領図（その1）（参考図）		
縮尺	1:500	図面番号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工務所		

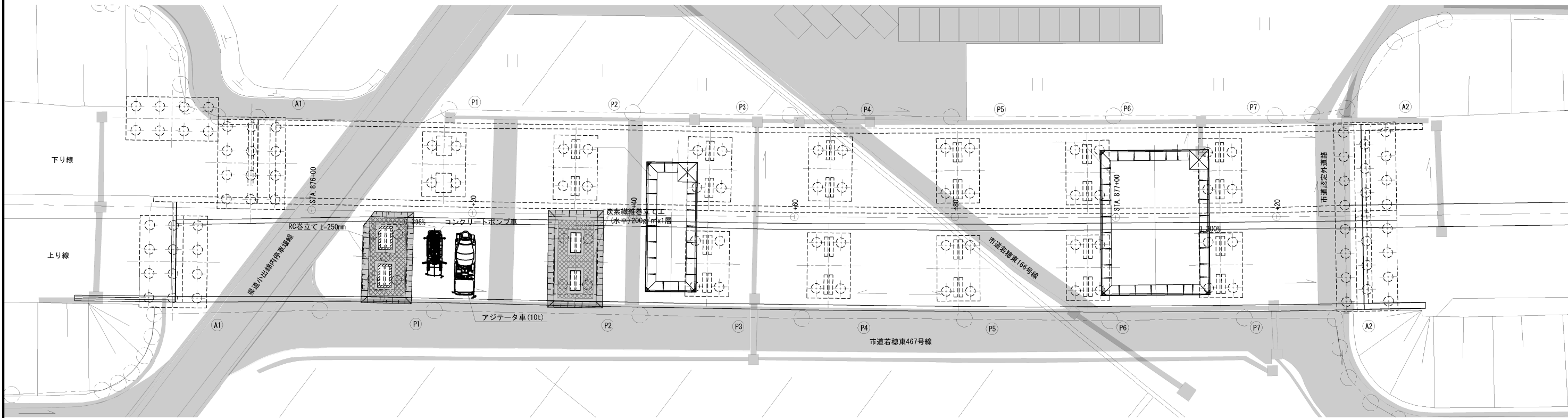
若穂高架橋（上り線） 施工要領図（その2）（参考図） S=1:500
RC巻立て・炭素繊維巻立て工

25 / 27

側面図



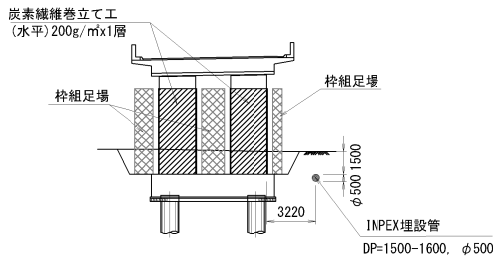
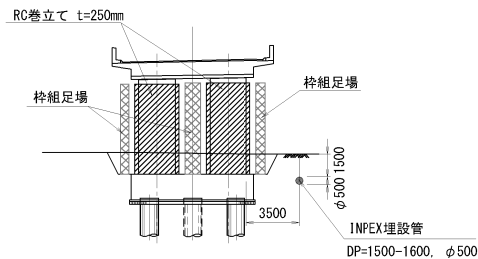
平面図



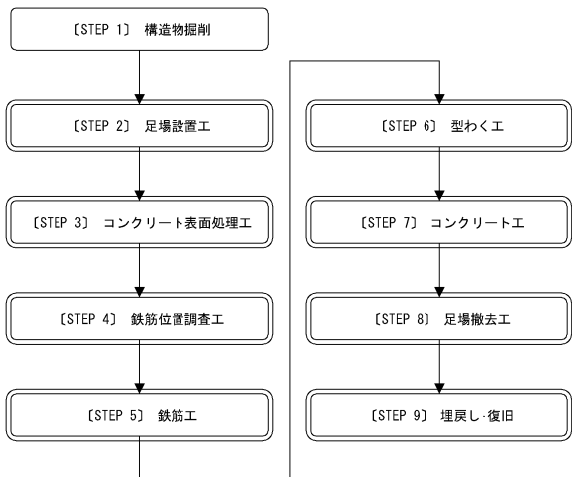
断面図

P1橋脚

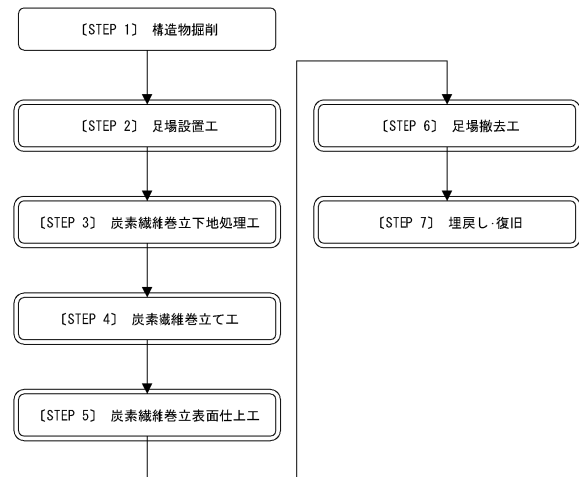
P2橋脚



RC巻立て 施工フロー (P1橋脚)

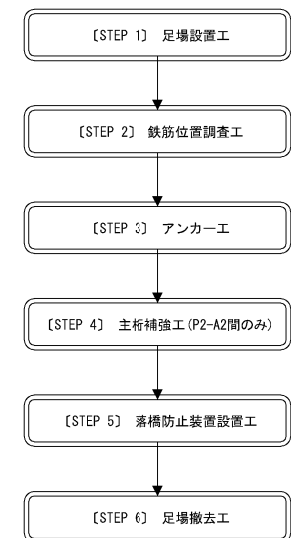
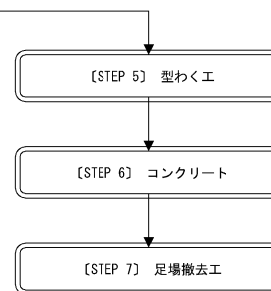
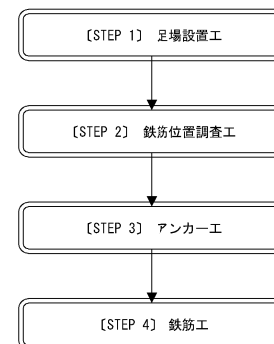
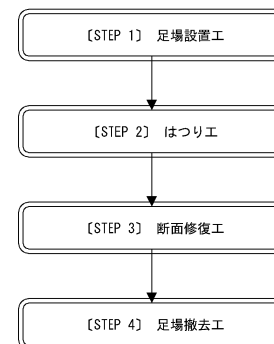
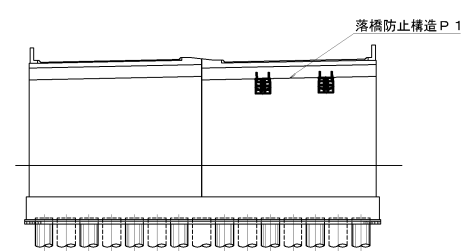


炭素繊維巻立て工 施工フロー (P2橋脚)



注記)
1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
2. 既設構造物の形状を現地計測の上、必要に応じて、施工内容を精査すること。

上信越自動車道 豊洲高架橋耐震補強工事			
若穂高架橋（上り線） 施工要領図（その2）（参考図）			
図面の種類	縮尺	1:500	図面番号
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		



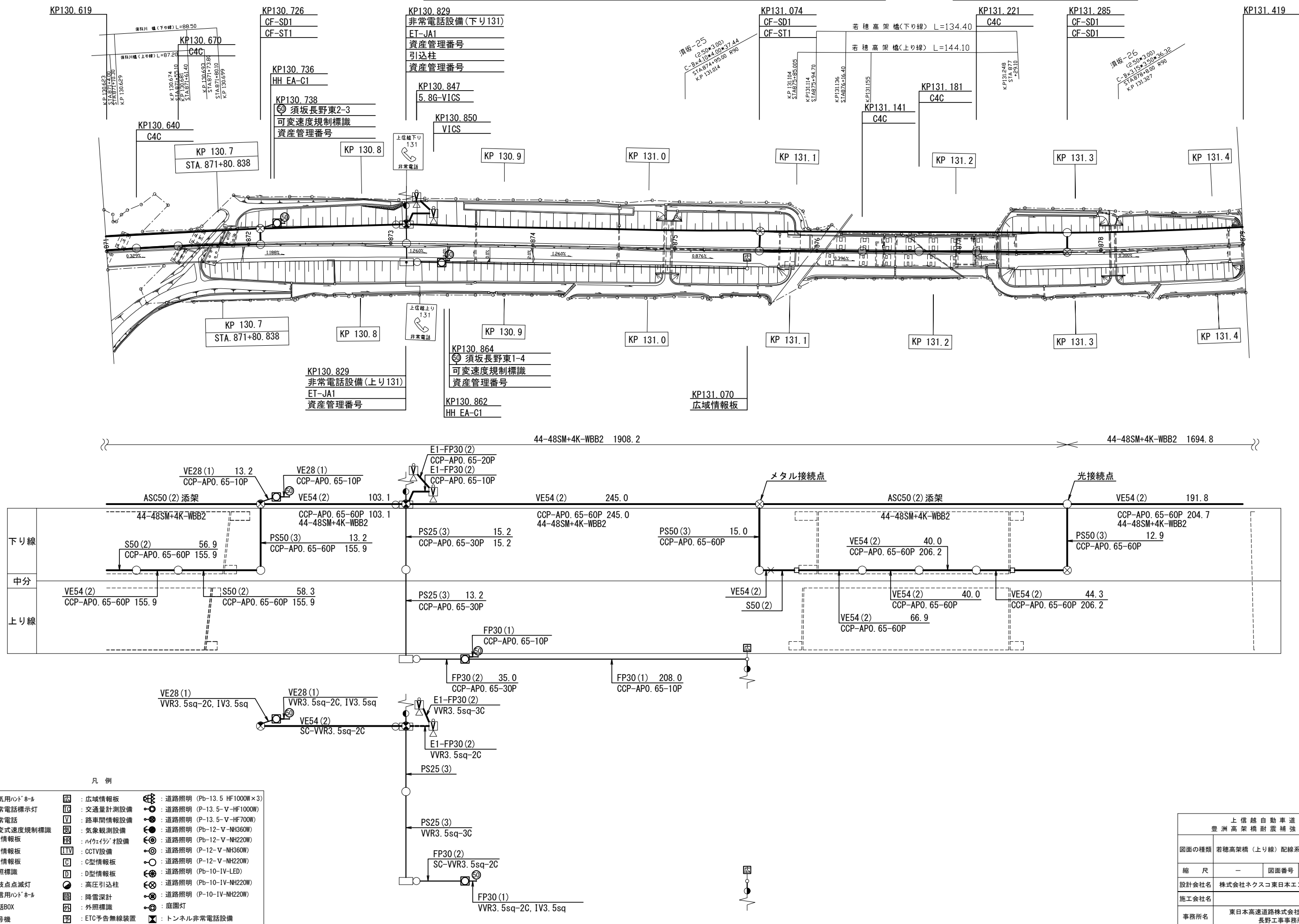
注記)

1. 施工前に既設形状寸法を確認すること。
2. 既設構造物の形状を現地計測の上、必要に応じて、施工内容を精査すること。

上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	若 稽 高 架 橋 (上 り 線) 施工要領図 (その 3) (参考図)		
縮 尺	1 : 5 0 0	図 面 番 号	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長 野 工 事 務 所		

若穂高架橋（上り線）配線系統図（参考図）

130.7KP~131.4KP



凡 例

- | | | | | | |
|--|--------------|--|-------------|--|----------------------------|
| | : 電気用ハンド・ネール | | : 広域情報板 | | : 道路照明 (Pb-13.5 HF1000W×3) |
| | : 非常電話標示灯 | | : 交通量計測設備 | | : 道路照明 (P-13.5-V-HF1000W) |
| | : 非常電話 | | : 路車間情報設備 | | : 道路照明 (P-13.5-V-HF700W) |
| | : 可変式速度規制標識 | | : 気象観測設備 | | : 道路照明 (Pb-12-V-NH360W) |
| | : A型情報板 | | : ハウエイシ・オ設備 | | : 道路照明 (Pb-12-V-NH220W) |
| | : B型情報板 | | : CCTV設備 | | : 道路照明 (P-12-V-NH360W) |
| | : J型情報板 | | : C型情報板 | | : 道路照明 (P-12-V-NH220W) |
| | : 内照標識 | | : D型情報板 | | : 道路照明 (Pb-10-IV-LED) |
| | : 分岐点点滅灯 | | : 高圧引込柱 | | : 道路照明 (Pb-10-IV-NH220W) |
| | : 通信用ハンド・ネール | | : 降雪深計 | | : 道路照明 (P-10-IV-NH220W) |
| | : 電話BOX | | : 外照標識 | | : 庭園灯 |
| | : 信号機 | | : ETC予告無線装置 | | : トンネル非常電話設備 |

上 信 越 自 動 車 道 豊 洲 高 架 橋 耐 震 補 強 工 事			
図面の種類	若穂高架橋（上り線）配線系統図（参考図）		
縮 尺	—	図面番号	
設計会社名	株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 長野工事事務所		